

令和 2 年 1 2 月 2 4 日

令和 2 年度第 9 回定例松本市教育委員会

会 議 議 案

松本市教育委員会

令和 2 年度第 9 回定例松本市教育委員会付議案件

〔議案〕

第 1 号 令和 2 年度松本市公民館活動推進功労者について

〔報告〕

第 1 号 松本市教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱について

第 2 号 令和 2 年松本市議会 1 2 月定例会の結果について

第 3 号 事業棚卸の実施結果について

第 4 号 宇宙関連事業講演会の開催結果について

第 5 号 まつもと子ども未来委員会による市長提言及び活動内容について

〔周知事項〕

- 1 未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第 36 回公民館研究集会
令和 2 年度地域づくり市民活動研究集会～の開催について

〔その他〕

教育委員会資料
2. 1 2. 2 4
生涯学習課・中央公民館

議案第 1 号

令和2年度松本市公民館活動推進功労者について

1 趣旨

松本市公民館活動推進功労者感謝状贈呈内規に基づき、令和2年度松本市公民館活動推進功労者について協議するものです。

2 目的

市の公民館活動推進のために功労のあった者に対して感謝状を贈呈することにより、市民の公民館活動への関心を高め、公民館活動の振興を図ることを目的としています。

3 推薦基準

- (1) 公民館の非常勤職員又は公民館運営審議会委員として6年以上在職し、退職または退任した者
- (2) 公民館委員として8年以上在職し、退任した者
- (3) 上記のほか、特に公民館活動推進のため尽力したと認められる者

4 功労者（候補者）

計19名 別紙功労者（候補者）名簿のとおり

5 感謝状の贈呈

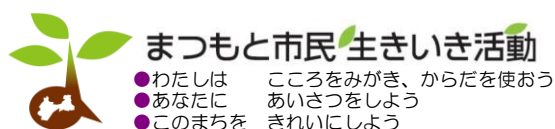
「未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い ～第36回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」のなかで、感謝状を贈呈します。

(1) 日時

令和3年2月21日（日） 9時30分から10時まで

(2) 会場

松本市中央公民館（Mウイング）6階ホール



担当 生涯学習課・中央公民館
課長 栗田 正和
(直通32-1132)

松本市公民館活動推進功労者感謝状贈呈内規

(目 的)

第1条 この内規は、永年、市で設置する公民館の（以下「公民館」という。）活動推進のために功労のあった者（以下「功労者」という。）に対し、感謝状を贈呈することにより、市民の公民館活動への関心を促し、もって公民館活動の振興を図ることを目的とする。

(功労者の推薦基準)

第2条 功労者の推薦基準は、次のとおりとする。

- (1) 公民館の非常勤職員または公民館運営審議会委員として6年以上在職し、退職または退任した者
- (2) 公民館委員として8年以上在職し、退任した者
- (3) 前2号に定める者のほか、特に公民館活動推進のため尽力したと認められる者

(功労者の推薦及び決定)

第3条 功労者の推薦は、中央公民館長及び各地区公民館長が行い、松本市教育委員会が決定する。

(感謝状の贈呈)

第4条 感謝状の贈呈は、原則として年1回開催される公民館研究集会において松本市教育委員会が行う。

附 則

この内規は、昭和63年12月17日から施行する。

この内規は、平成8年12月19日から施行する。

この内規は、平成29年4月1日から施行する。

令和2年度松本市公民館活動推進功労者名簿

No.	氏 名	推薦館	役 職	在 職 期 間
1	いもり ふくたろう 飯森 福太郎	第一地区	・ 運営委員会 ・ 文化委員	H16. 4. 1 ～ H26. 3. 31 (10年) H28. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (4年) 計14年
2	もうり たつお 毛利 達生	第一地区	・ 文化委員	H23. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (9年)
3	よこやま かずみ 横山 和美	第二地区	・ 体育委員 ・ 文化委員	H23. 4. 1 ～ H24. 3. 31 (1年) H24. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (8年) 計9年
4	おおの こうじ 大野 幸司	第二地区	・ 体育委員 ・ 運営委員	H14. 4. 1 ～ H23. 3. 31 (9年) H26. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (6年) 計15年
5	ふくだ もりたか 福田 守孝	第二地区	・ 体育委員 ・ 文化委員	H23. 4. 1 ～ H24. 3. 31 (1年) H24. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (8年) 計9年
6	みやがわ はやお 宮川 速雄	城北	・ 館報編集委員	H24. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (8年)
7	つだ つねお 津田 恒夫	城東	・ 視聴覚委員	H15. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (17年)
8	なかむら むねはる 中村 宗晴	白板地区	・ 公民館運営委員	H19. 4. 1 ～ H20. 3. 31 (1年) H23. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (9年) 計10年
9	せき しげたか 関 成任	新村	・ 地区公民館長	H26. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (6年)
10	わたなべ まさあき 渡邊 正明	和田	・ 地区公民館長	H26. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (6年)
11	はぎわら せいじろう 萩原 誠二郎	和田	・ 体育委員	H23. 4. 1 ～ H25. 3. 31 (2年) H26. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (6年) 計8年
12	あさだ たけと 浅田 武門	神林	・ 公民館運営委員	H23. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (9年)
13	きつぎ ゆみこ 木次 由美子	神林	・ 運営委員会 ・ 館報編集委員	H21. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (10年) H30. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (2年) 計11年
14	ごみ ふじ 五味 富士	寿	・ 公民館運営委員	H13. 12. 1 ～ H25. 11. 30 (12年) H26. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (6年) 計18年
15	すがた かねゆき 菅田 金幸	寿	・ 公民館運営委員 ・ 館報編集委員	H19. 4. 1 ～ H21. 3. 31 (2年) H23. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (9年) 計11年
16	かみじょう きとし 上條 敏	寿台	・ 文化委員	H20. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (12年)
17	かわぐち かずお 川口 一雄	里山辺	・ 体育委員	H24. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (8年)
18	かじ は 梶葉 利行	里山辺	・ 館報編集委員 ・ 体育委員	H18. 4. 1 ～ H22. 3. 31 (4年) H28. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (4年) 計8年
19	なかじま ひろし 中嶋 博	四賀	・ 情報委員 ・ 館報編集委員 ・ 運営委員	H9. 4. 1 ～ H17. 3. 31 (8年) H17. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (15年) H20. 4. 1 ～ R2. 3. 31 (12年) 計23年

教育委員会資料
2. 1 2. 2 4
教育政策課

報告第 1 号

松本市教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱について

1 趣旨

第3次松本市教育振興基本計画の策定にあたり、標記委員の委嘱について報告するものです。

2 委嘱者

- (1) 委嘱者名簿（案） 別紙のとおり
- (2) 委員総数 12名

3 任期

委嘱の日（令和3年1月を予定）から基本計画が策定される日までの間

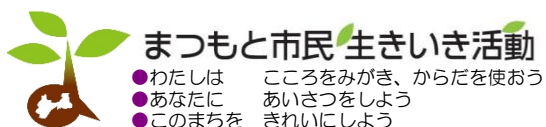
4 根拠法令等

松本市教育振興基本計画策定委員会設置要綱

5 今後の予定

令和3年1月から月1回程度、全8回の予定で委員会を開催し、幅広い意見をいただく中で、計画を策定していきます。

担当	教育政策課
課長	小林 伸一
電話	33-3980



○松本市教育振興基本計画策定委員会設置要綱

平成28年10月17日

教育委員会告示第20号

(目的)

第1条 この要綱は、松本市教育振興基本構想に基づく松本市教育振興基本計画（以下「基本計画」という。）を策定するため、松本市教育振興基本計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置することについて、必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 松本市教育振興基本計画の策定に関すること。
- (2) その他必要な事項に関すること。

(組織等)

第3条 委員会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から基本計画が策定される日までの間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長1人を置き、委員の互選によって選出する。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 委員長に事故のあるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(臨時委員)

第6条 委員会に、所掌事項に関し特別な事項を調査審議する必要があるときは、臨時委員若干名を置くことができる。

- 2 臨時委員の任期は、当該特別な事項に関する調査審議が終了するまでの間とする。

(会議)

第7条 委員会は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が会議の議長となる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会教育政策課において処理する。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この告示は、平成28年10月18日から施行する。

報告第 2 号

令和2年松本市議会12月定例会の結果について

1 趣旨

松本市議会12月定例会の結果について報告するものです。

2 会期等について

11月30日（月）から17日（木）まで 18日間

一般質問 12月7日（月）から9日（水）まで 3日間

教育民生委員会 10日（木）

3 教育民生委員会の審査結果について

(1) 審査内容

議案第41号

令和2年度松本市一般会計補正予算（第8号）中教育委員会関係予算

事 項	期 間	限度額
小中学校 I C T 支援員配置業務委託	R 2 年度～R 5 年度	3 2 5, 4 1 0 千円

【内容】

G I G A スクール構想下における学校の I C T 活用体制を令和3年4月当初に構築し、かつ継続的な支援を進めていくに当たって、I C T 支援員配置業務委託について令和2年度から令和5年度までの債務負担行為を設定するもので、原案どおり可決されました。

(2) 主な意見等

委員からは、I C T 支援員の体制について質疑があり、4校に1人の配置を行い、1人の支援員が週に4校程度をまわることで、各校が週に1回は支援を受けられる体制とする旨の答弁をしました。それに対し、4校に1人という体制で充分なのか、他市の事例等も参考に精査・検討してほしい旨の要望がありました。

また、I C T 支援員の配置期間に合わせた令和2年度から令和5年度までの債務負担行為の中で、当初部分を厚くして、先生への支援を充実することで早めの技術習得を図るなど、柔軟な予算化を検討してほしい旨の要望がありました。

4 教育民生委員協議会

報告事項

(1) 国宝松本城天守石垣調査の実施について

(2) come (calm) to matsumoto キャンペーンの実施について

2件とも承認されました。

5 基幹博物館建設特別委員会

(1) 開催日

令和2年12月2日（水）

(2) 報告事項

八十二銀行松本営業部ビル用地に関する取組について

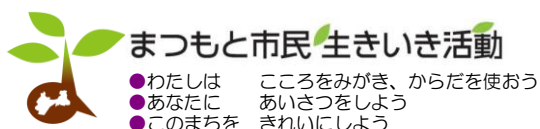
【内容】

基幹博物館建設地のうち、㈱八十二銀行及び㈱長栄から借用している土地の取得と一体的に取り扱うこととしていた、八十二銀行松本営業本部ビル用地の取得に関する取組について、19億円と試算される新たな財政負担は市民の理解を得られないこと、行政の手続きや市民への説明責任の観点などから、市長が凍結することを判断したもの

(3) 主な意見等

委員からは、市長からの直接の説明を求める意見や、三の丸整備の重要性を認識すべきとの意見、八十二銀行深志支店周辺で既に移転を承諾しているなど、影響を受けた住民に寄り添う対応を求めるなど意見が出され、報告を受けたと集約されました。

担当	教育政策課
課長	小林 伸一
電話	33 - 3980



「学都松本」

小中学校 I C T 支援員配置業務委託に係る債務負担行為の設定等について

1 趣旨

G I G A スクール構想下における学校の I C T 活用支援体制を令和 3 年 4 月当初に構築し、かつ継続的な支援を進めていくに当たって、I C T 支援員配置業務委託について令和 2 年度から令和 5 年度までの債務負担行為を設定したものです。

2 経過

H 2 9 . 1 2 文部科学省「平成 3 0 年度以降の学校における I C T 環境の整備方針概要」で、I C T 支援員の配置目標水準が 4 校に 1 名と示される。

R 1 . 8 市立小中学校に I C T 支援員 1 名を配置

9 松本市学校教育情報化推進計画で、I C T 支援員の配置拡大を計画

2 . 1 1 G I G A スクール構想の初期支援を行うため、G I G A スクールサポーターを 2 2 名（常時 4 名、一時的：1 8 名）配置 ※ R 2 年度のための配置

1 2 1 2 月補正予算に I C T 支援員配置業務委託に係る債務負担行為を設定

3 業務概要

I C T 支援員 1 1 名（1 0 名増員）※ 4 校に 1 名の配置 ⇒ 1 校当たり、週に 1 回以上の支援

(1) 日常的な I C T 活用の普及・定着、教育活動の充実に向けて、I C T を活用した授業支援、授業づくりの支援、遠隔学習支援などを行う I C T 支援員を配置するものです。I C T 支援員は、教育補助員にふさわしく、I C T の基本スキルを持ち合わせる人物とします。

(2) 受注者の社内に教育情報化コーディネーターなどの有資格者を配し、I C T 支援員のフォローアップ及び業務の統制体制を求めます。

(3) 配置期間 令和 3 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 3 1 日

4 債務負担行為設定額 令和 2 年度から令和 5 年度 限度額 3 2 5 , 4 1 0 千円

5 その他

(1) G I G A スクール構想の各種整備の進捗状況

項 目	概 要	整備状況（R2.12.22 現在）	
校内通信ネットワークの整備工事	・無線 LAN、充電保管庫等の整備（全小中学校） ・各校からインターネット接続	R3.3 竣工予定	LAN 配線：43 校完了（93%） ネットワーク機器の設置・設定：33 校完了（72%） 充電保管庫設置：10 校完了（22%）
学習者用コンピュータ賃貸借	1 人 1 台 端 末 の 整 備 （18,790 台）	R3.3～ リース開始	現在、端末の設定内容等を調整中 R3.2 月末までに順次納品
モバイル Wi-Fi ルーターの購入	貸出可能なモバイル Wi-Fi ルーターの整備（1,713 台）	R2.11 納品完了 R3.2～ 通信開始（通信契約は完了）	

遠隔学習用マイク・カメラの購入	Web カメラ、マイクの整備 (220 式)	R2.10 納品完了	
GIGA スクールサポーター配置業務委託	GIGA スクール構想の初期支援を行うサポーターを全 22 名配置（常時：4 人、一時的：18 人）	R2.11～ R3.3	R2.11 ・デモ機、実機を用いて管理職、教科等研究教員及び ICT 担当教員への統一研修 R.2.12～R3.3 ・学校別の研修

(2) 授業における I C T 活用の普及に向けて

G I G A スクールサポーターに作成していただくマニュアルの提示や教職員研修のほか、I C T を活用した授業の姿や教科別の I C T 活用例を示した別紙「松本市学びスタイル」を学校に提示していく予定です。

松本市学びスタイル

『たくましく未来を拓く 心豊かな松本の子』



何ができるようになるか

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

学習指導要領に沿った教育の推進

- 新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた**教科・科目等の目標・内容の見直し**をする
- 教師が連携し、**複数の教科等の連携**を図りながら授業をつくる
- 学校教育の効果を**常に検証して改善**する
- 地域と連携**し、よりよい学校教育を目指す

どのように学ぶか

教科等の見方・考え方を働かせた**問題解決(探究)活動**の充実

- 主体的・対話的で深い学び**の実現
- 個に応じた学習**の充実

※教員の ICT 活用指導力の向上と ICT 環境の充実を図り、児童生徒が様々な場面で**ICTを活用できる環境**を実現する
(**情報モラル学習**の推進)

※小規模校の特色を生かして学習する

ICTを活用した授業の姿

～教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを有効的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、資質・能力の育成につなげる～

(○:教師側のよさ、□:子ども側のよさ)

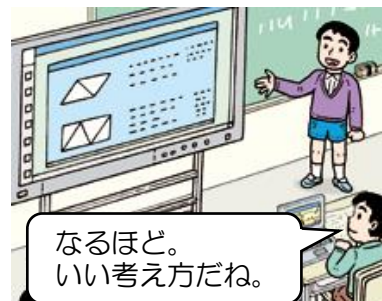
【導入】 大型提示装置(電子黒板)や1人1台タブレットを使い、これまでの学習内容を確認したり、これから学習する内容を提示したりする。

- 問題を拡大して見せることができる。
- 大事なことを、視覚的に分かりやすく伝えることができる。
- 問題を一瞬に配布できる。(職員用PC→1人1台タブレット)
- イメージを膨らませながら考えることができる。



【展開】 1人1台端末を使い、個別やグループで考える時間を設ける。
考えたことを全体で共有したり、分かったことや新たな疑問について話し合ったりする時間を設ける。

- ノート代わりに使用することができる。(映像も記録できる)
(1人1台タブレットの書き込み・カメラ機能)
- 自分のペースで、試行錯誤しながら学習できる。
(QRコード、1人1台タブレットのやり直しなどの機能)
- 子どもの考えを把握し、授業の進め方に役立てることができる。
(1人1台タブレット→職員用PC→1人1台タブレット)
- 友の考えを参考に学ぶことができる。
(1人1台タブレットの画面の共有機能)
- 発表の準備がいらぬい。
(1人1台タブレット→職員用PC)
- 友と自分の考えを比較・検討できる。
(職員用PC→1人1台タブレット)



【終末】 1人1台端末を使い、今日の学習したことやこれからやってみたいことなどを自分の言葉でまとめたり、さらに課題に取り組んだりする時間を設ける。

- いつでも振り返りができるよう、学習した内容を保存、蓄積することができる。(1人1台タブレット→個人アカウント)
- 今後の授業の進め方や、評価に役立てる。
(1人1台タブレット→職員用PC)
- 個々の学習の定着状況に応じて、習熟・活用ができる。
(1人1台タブレット、AIドリル)



【その他】

- ・学校間の合同授業、遠隔地の外部人材の支援を受けた授業
- ・緊急時の遠隔授業
- ・不登校や病気療養の児童生徒のカウンセリング・学習機会の確保
- ・自ら問いを立て、答えを見いだす授業(違う場所で、違うペースで学ぶ)

『たくましく
未来を拓く
心豊かな
松本の子』

教科別のICT活用例

全教科でできること

①教科書のQRコードを読み取り、自分に合った動画で学習する。

②授業支援ソフト(SKYMENU等)を使って学習する。

【子ども】問題に対する自分の考えを持ち、その考えをタブレットに入力し、大型提示装置に提示する。

【教師】把握した典型的な解き方や子どものつまづきを提示(大型提示装置、タブレットに転送)し、グループやクラス全体で考える。



<国語>

- ・画面を指でなぞりながら、平仮名やカタカナ、ローマ字、漢字の書き順を学ぶ。
- ・物語の続きをイメージし、そのイメージに合うような様子を撮影し、その写真を紹介し合う。

<社会>

- ・身近な地域の様子についてインタビュー調査を行い、その様子を撮影した動画を見ながら、自分の考えをまとめる。
- ・メルカトル図法とモルワイデ図法の地図を重ね、地図の仕組みについて考える。

<算数、数学>

- ・複雑な形の面積の求め方について、配布されたシートに線を引いたり、図形を動かしたり、条件を変えたりしながら考える。
- ・データを度数分布表に入力し、ヒストグラムや箱ひげ図に表しながら、資料の特徴について考える。

<理科>

- ・植物の成長の様子を撮影し、タイムラプス動画(写真をつなぎ合わせる)を作成し、植物の成長について考察する。
- ・実験の結果に対する考察について、撮影した動画を提示しながら説明する。

<音楽>

- ・クラス合唱のサビの部分撮影した動画を見ながら、表現の工夫が伝わるようにするにはどうすればよいのか考える。
- ・グループで考えた旋律を入力し、作った旋律のまとまり感や和音との調和を視聴したり、自分で音やリズムを並べて作曲したりする。

<図画工作、美術>

- ・毎時間、自分の作品を撮影し、その写真を見ながら、工夫した点や作品に込めた思いなどについて考える。
- ・テーマや構図、光の加減などを工夫しながら撮影し、自分の気に入った写真を一枚選び、友だちと紹介し合う。

<家庭、技術・家庭>

- ・教師が用意したデジタル教材を見ながら、運針・ミシン縫いの練習をする。
- ・自分ののこぎりの使い方を撮影し、動画をスロー再生しながら、のこぎりの使い方について問題点はないか考える。

<体育、保健体育>

- ・マット運動で、友だちに撮影してもらった動画を見ながら、自分の動きを確認する。
- ・調査結果や校内でのけがの経験をもとに、けがの起こりそう場所を撮影し、けがが起こった原因とけがを防ぐための対策を考える。

<外国語>

- ・紹介したい場面をネットから探し、タブレットで紹介しながらスピーチする。Web 会議システムを利用して、海外の方に話してみる。
- ・英語の音声ファイルを開き、自分が聞き取りにくいところを繰り返し再生しながら、リスニングを練習する。

<特別の教科 道徳>

- ・教材を読んで心に残ったことを入力した一覧表示を見て、交流したい友だちを見つけ、交流する。
- ・道徳のデジタルコンテンツを見て思ったことを、デジタルコンテンツの場面を提示しながら説明する。

<特別活動>

- ・友だちとアドバイスし合いながら、発表用のプレゼンテーションを自分のタブレットで作成する。
- ・職場体験学習に向けて、Web 会議システムを利用して職場の方と打ち合わせを行い、発表ノートにまとめる。

<生活科、総合的な学習の時間>

- ・春探しなど、クラスで調べるテーマについて、学校の敷地内を散策しながら撮影し、友だちと紹介し合う。
- ・友だちの発表を聞いてもっと調べてみたいと思ったことを、タブレットで調べる。

<自習の時間>

- ・インターネットコンテンツを利用し、自分のタブレットで自分に合った問題を選択し、個別に学習を進める。

<校外学習(社会見学など)>

- ・モバイルルーター、タブレットを利用し、今までの学習データを読み出したり、調べものをしたりしながら学習を進める。

<不登校や病気療養の児童生徒の支援>

- ・モバイルルーター、タブレット、web カメラ、マイクを使い、Web 会議システムを利用して学習機会を確保する。

<特別な支援を必要とする児童生徒の力を引き出す>

- ・文字を書くことが苦手な児童生徒も簡単にPC上で加筆修正ができ、文字を書く負担が減る。・直感的に操作ができる。等



教育委員会資料
2. 1 2. 2 4
教育政策課

事業棚卸の実施結果について

1 趣旨

事業棚卸の実施結果について報告するものです。

2 経過

(1) 一次判断までの経過

- 2. 5 下旬 総務部・政策部・財政部で、進め方を協議
- 6 月上旬 事業概要書・事務事業評価票を基に、市長の一次判断開始
- 8 月下旬 市長の一次判断完了

(2) 一次判断以降、最終判断までの経過

- 2. 8 月下旬 実施計画二次ヒアリングで、方向性を検討
- 9 月下旬 一次判断に対する対応方針を担当部で作成
- 10 月上旬 担当部で作成した対応方針について、市長が最終確認
- 11 月上旬 市長の確認終了
- 下旬 庁内検討会議で、棚卸結果を確定

3 棚卸対象事業一覧（教育委員会分）

別紙のとおり

- (1) 令和3年度以降、廃止を検討する事業 1 事業
- (2) 効率化や、費用対効果の検証を行ったうえで、縮減や内容の見直しを行い、実施する事業 6 事業
- (3) 現状どおり継続する事業 28 事業

4 今後の対応

- (1) 「令和3年度以降、廃止を検討する事業」については、当該事業の利害関係者と調整を進め、令和3年度で廃止する方向で検討し、検討結果を令和3年度当初予算へ反映します。
- (2) 「効率化や、費用対効果の検証を行ったうえで、縮減や内容の見直しを行い、実施する事業」については、より高い効果が得られるよう既存事業の内容を見直し、令和3年度当初予算編成において検討します。
- (3) 「現状どおり継続する事業」については、最小のコストで最大の効果をあげられるよう、令和3年度当初予算編成において精査します。

担当	教育政策課
課長	小林 伸一
電話	33-3980

棚卸対象事業一覧（教育委員会分）

①令和３年度以降、廃止を検討する事業

事業名	課	事業概要	方向性
教職員住宅管理	学校教育課	市内小中学校の教職員とその家族用の住居を管理する事業	将来的な施設廃止

②効率化や、費用対効果の検証を行ったうえで、縮減や内容の見直しを行い、実施する事業

事業名	課	事業概要	方向性
教育文化センター改修(新科学館)	教育政策課	教育文化センターを新科学館として整備するもの	効率化・見直し
学校教育情報化推進事業	学校教育課	教育の情報化の推進を図るため、学校におけるICT環境を整備するもの	効率化・見直し
プール整備事業	学校教育課	老朽化の著しい小中学校のプールについて、改築及び改修を行うもの	効率化・見直し
社会教育事務	教育政策課	学都松本の推進のために、チラシ等による周知や、フォーラム、講座等を開催するもの	効率化・見直し
生涯学習推進	生涯学習課	学びと住民自治を基盤とする地域づくりを進めるため、公民館研究集会等を実施するもの	効率化・見直し
各種行事運営	松本城管理事務所	・松本城への誘集客のための事業 ・松本城及び歴史的に関係する行事等を知ってもらうための事業	効率化・見直し

③現状どおり継続する事業

事業名	課	事業概要	方向性
海洋教育パイオニアスクール事業	教育政策課	助成金を活用し、各校で特色を生かした海洋教育を実施するもの	現状どおり
宇宙関連企画事業	教育政策課	宇宙や科学について興味・関心を高められるようなイベントを実施するもの	現状どおり
指導員配置事業(運動部活動改革プラン事業)	学校指導課	中学校部活動における諸課題に対応するための調査研究を行うもの	現状どおり
松本版コミュニティスクール事業	生涯学習課	学校だけでなく、家庭と学校と地域がともに子どもたちを育てる事業を実施するもの	現状どおり
多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業	生涯学習課	東京大学と協働し、多世代参画型地域共生コミュニティづくりのモデル構築を行うもの	現状どおり
中央図書館の在り方検討及び大規模改修事業	中央図書館	これからの図書館の在り方検討会を開催するもの	現状どおり
学都松本子ども読書活動推進事業	中央図書館	子どもが未来を拓く豊かな心と生きる力を育むための読書環境の整備を推進するもの	現状どおり
南・西外堀復元事業	松本城管理事務所	内環状北線整備事業と一体的に、松本城南・西外堀を復元するもの	現状どおり

棚卸対象事業一覧（教育委員会分）

事業名	課	事業概要	方向性
堀浄化対策事業	松本城管理事務所	松本城の内堀・外堀・総堀の浚渫及び水質浄化を実施するもの	現状どおり
美術館大規模改修事業	美術館	老朽化が進んでいる松本市美術館について、令和3年度に大規模改修を実施するもの	現状どおり
展覧会事業・草間彌生顕彰事業	美術館	松本市美術館において、企画展・草間彌生顕彰事業を実施するもの	現状どおり
教育振興基本計画策定事業	教育政策課	教育振興基本計画を策定するもの	現状どおり
プラネタリウム運営事業	教育政策課	令和元年度から、新機器を活用した各種プラネタリウム事業を実施するもの	現状どおり
指導書購入事業	学校教育課	教師用の教科書と指導書を購入するもの	現状どおり
インクルーシブ教育推進事業	学校指導課	松本市のインクルーシブ教育の在り方を検討するもの	現状どおり
スクールロイヤー事業	学校指導課	学校で発生する様々な問題に関する相談相手として、継続的に学校への助言をする弁護士を配置するもの	現状どおり
高雄市との中学生交流事業	学校指導課	松本市と台湾高雄市の中学生による交流事業を実施するもの	現状どおり
コーディネーター配置事業	生涯学習課	多くの青少年が気軽に集まれる居場所づくりを推進するため、コーディネーターを配置するもの	現状どおり
基幹博物館整備事業	博物館	基幹博物館の建設を進めるもの	現状どおり
美ヶ原少年自然の家管理	学校教育課	自然の中での生活体験を通じ、青少年の健全な心身発達を図る事業	現状どおり
負担金 (校長会等)	学校教育課	学校教育の充実・向上を図るため、各団体に対して負担金を支払う事業	現状どおり
負担金 (県中学校体育連盟等)	学校教育課	学校教育の充実・向上を図るため、各団体に対して負担金を支払う事業	現状どおり
負担金 (県吹奏楽連盟等)	学校教育課	学校教育の充実・向上を図るため、各団体に対して負担金を支払う事業	現状どおり
松本市各種競技会、発表会等出場者祝金(小学校)	学校教育課	芸術文化活動の促進を図るため、ブロック大会以上の発表会に出場する小中学生に対して、祝金を交付する事業	現状どおり
青少年ホーム事業	生涯学習課	若者の充実した社会生活や社会での活躍を支援するため、松本若者会議等を実施するもの	現状どおり
町内公民館振興事業	生涯学習課	住民の身近な学習・親睦の拠点となる町内公民館の活動の、一層の充実を図る事業	現状どおり
食育事業	生涯学習課	食育推進計画の事業として、地域関係団体等が連携し地域の要望に沿った講座を実施するもの	現状どおり

棚卸対象事業一覧（教育委員会分）

事業名	課	事業概要	方向性
観光宣伝	松本城管理 事務所	・パンフレットやホームページなどによる松本城の情報配信事業 ・松本城の来場者のため、時代衣装を着た「おもてなし隊」が、一緒に写真を撮ったり、案内するなどのおもてなしをする事業 ・V Rによる松本城の紹介事業	現状どおり

報告第 4 号

宇宙関連事業講演会の開催結果について

1 趣旨

小中学生をはじめ、市民が宇宙をより身近に感じ、興味・関心を高めてもらうため、標記講演会を開催しましたので、その結果について報告するものです。

2 講演会の概要

- (1) 演題 「宇宙人って本当にいるの？」
～地球外知的生命探査から考えられる地球の未来～」
- (2) 日時 令和2年11月28日（土） 14時00分から15時20分まで
- (3) 会場 松本市教育文化センター 3階 視聴覚ホール
- (4) 講師 鳴沢 真也 氏（兵庫県立大学 天文科学専門員 理学博士）
- (5) 対象 小学校高学年以上

3 開催結果

(1) 参加者集計

今年度参加者数 (A)	昨年度参加者数 (B)	参加者増減 (A-B)
95人	95人	増減なし

(2) アンケート集計（別紙のとおり）

4 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、定員数の調整や、マスク常時着用の担保等、感染防止策を徹底したうえで開催しました。
- (2) 地球外知的生命探査をテーマとした講演会は、はやぶさ2による小惑星探査ミッション等の話題とも相まって、参加者の満足度は高く、宇宙をテーマとした講演会へのニーズが確認できました。
- (3) 次年度以降も子どもから大人まで誰もが、宇宙をはじめとした科学の世界に触れ、わくわくできる講演会の開催を検討していきます。

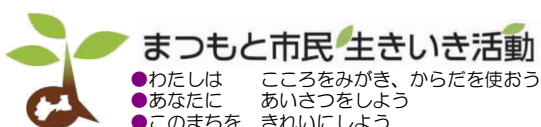
担当

教育政策課 課長 小林 伸一

電話 33-3980

教育文化センター 所長 加藤 政彦

電話 32-7600



1 講演会アンケートのまとめ

回答総数 83人(回答率87.3%)

項目	細目	人数	人数計
年代	10歳未満	7	83
	10歳代	19	
	20歳代	1	
	30歳代	2	
	40歳代	16	
	50歳代	21	
	60歳代	8	
	70歳代	6	
	80歳代	1	
	不明・未回答	2	
地区	松本市内	62	83
	松本市外	20	
	不明・未回答	1	
企画・運営について	よい	77	83
	ふつう	2	
	よくない	3	
	不明・未回答	1	
継続開催の希望	希望する	76	83
	希望しない	2	
	どちらともいえない	5	

2 主な感想、意見等

1	宇宙人から自分たちのことを考えることで、自分たちが今いることの大切さを知ることができました(10代)
2	生命の歴史から最新の科学研究まで非常に興味深い講演会でした。地球外知的生命体は、実際には会えないけれど、その存在を知れることはすごいと思いました。これからも楽しい講演会を開催して欲しいです(10代)
3	本で知った鳴沢先生に憧れていたもので、実際にお話が聞けてとても良かったです。SETIや宇宙のことがもっと好きになったし、とても楽しかったです。いつか鳴沢先生のように宇宙に関係した仕事をしてみたいです(10代)
4	また講演会があったら参加したいです(20代)
5	(地球に)知的生命体(私たち)が存在するのは、本当に奇跡なんだと思いました。人間は便利を求めてしまいますが、将来ロボットにならなければいいなと思いました(30代)
6	宇宙人がこの宇宙のどこにいるかが分かっておもしろかったです。講演も堅苦しくなく、子どもも分かりやすかったです。宇宙人に会うことができないのは残念です(40代)
7	全体的に楽しく分かりやすかったです。宇宙の果てを想像しながら、自分たちの未来を考えるよい機会でした(40代)
8	とても楽しく考えさせられる講演でした。宇宙以外の講演も聴いてみたい(40代)
9	(子どもが)自分の将来、どの職業を選ぶかの一つのきっかけになると期待しています(50代)
10	宇宙人の話より地球人の話の方が多く、タイトルから想像していた内容とは違っていたと思う(50代)
11	大変良かったです。今後も星の美しい信州で宇宙に関係する講演をたくさんしていただきたい(50代)
12	ヒトの進化と宇宙が繋がっているという考え方がおもしろかったです(60代)
13	宇宙の話は奥が深く、不思議な世界(70代)
14	大切にこの命を終わりたい(70代)

教育委員会資料
2. 1 2. 2 4
こ ども 部

まつもと子ども未来委員会による市への提言及び活動報告について

1 趣旨

松本市子どもの権利に関する条例に基づき設置している、まつもと子ども未来委員会の第6期の児童生徒が、第37回松本市青少年健全育成市民大会・「松本市子どもの権利の日」市民フォーラムで、市への提言を行いましたので、その概要について報告するものです。

2 実施日

令和2年11月21日（土）

3 実施場所

勤労者福祉センター 大会議室

4 参加者

(1) まつもと子ども未来委員会委員 16名中15名

※委員会の概要は、別紙1のとおり

(2) まつもと子ども未来委員会サポーター（大学生） 5名中2名

(3) 市発言者2名（市長、教育長）

(4) 全体130名（関係者95名、一般35名）

5 発表内容（詳細は別紙2～4のとおり）

(1) 市への提言

ア 松本市の観光PRについて

イ 環境（フードドライブ）について

ウ 校則見直しについて

(2) 新型コロナウイルスに関する子ども目線からの意見

新型コロナウイルスの影響により、学校が休業になった時、子どもたちが考えたこと

6 子どもたちの感想

- ・自分たちの提言についての問題点、新たな課題を知ることができた。
- ・今回やった活動をこれで終わらせるのではなく、次につなげてやっていきたい。
- ・今後は、他のパンフレットを参考にするなど、改善策を考えたい。

7 今後の予定

- (1) 市への提言内容について、施策への対応の可否を関係課に照会します。
- (2) 提言の内容は、今期の活動と共に活動報告集にまとめ、関係機関に配布します。

担当	こども育成課
課長	西村 宏美
Tel	34-3291

第6期まつもと子ども未来委員会について

1 趣 旨

子どもにやさしいまちづくりを一層進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るために開催するものです。

2 内 容

子どもたちが、学校、地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、解決に向けて意見交換をするなど、活動をとおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考えます。

3 活動期間

令和2年5月～令和3年3月

※新型コロナウイルスの影響で、例年より開始時期が遅くなりました。

4 委 員

松本市内在住・在学又は活動している小学5年生から高校2年生16名

5 主な事業

(1) 委員会の開催

ア 学習会 14回（1カ月に1～2回程度）

イ 市内施設見学 1回（8月）

(2) 市への提言 11月

6 第6期の活動

(1) 活動1

委員が興味を持った事柄について、学習し、意見交換を行い、自分たちの考えを市へ提言する。

ア 松本市の観光PRについて イ 環境（フードドライブ）について

ウ 校則見直しについて

(2) 活動2

新型コロナウイルスの影響で学校が休業になった時、子どもたちが考えたことについて話し合い、意見をまとめる。

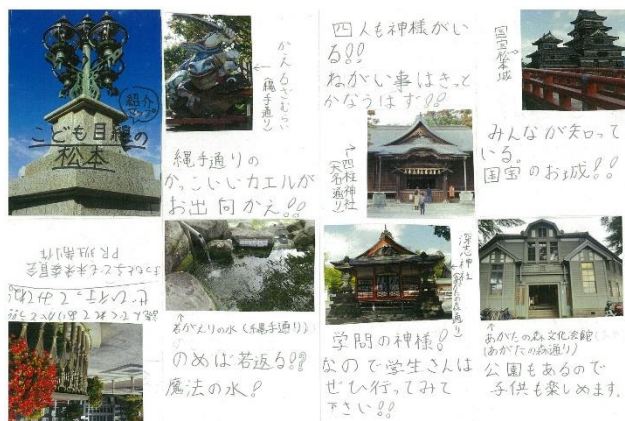
第6期まつもと子ども未来委員会 市への提言について

1 市への提言

(1) 松本市の観光 PR について

「松本は面白い」ということを多くの人に知ってもらうために、実際に自分たちで松本の観光地に足を運んで写真を撮影したり、PR 文を考えたりして、「子ども目線の松本」というパンフレットを作成しました。(※提言時には、下書きのパンフレットを紹介)

テーマを選んだ理由	課題	提言
・松本の面白いところを色々な人に知ってもらいたい	・新型コロナウイルスが流行する中で、「誰に」・「いつ行ってもらうのか」	・パンフレット紹介
・松本に詳しくない人もいるため、PRしたい	・新型コロナウイルスが流行する中で、本当にPRをしてもいいのか	



※A4 紙に印刷し、8 等分に折りたたむ
→ポケットサイズにして持ち運びしやすい形に

(2) 環境（フードドライブ）について

自分たちの身近で行われているフードドライブの取組みに関心を持ち、学習を進め、現在のフードドライブをさらに発展させる形で提言を行いました。

テーマを選んだ理由	課題	提言
・環境問題の深刻化（日本でのレジ袋有料化） →環境問題に関心を持った	・フードドライブの認知度が低い	・認知度向上 チラシ配布・回覧（学校・回覧板） ポスター掲示
・自分たちの身近な取組み（フードドライブ）を知った		・回収量増加 「常設」の回収ボックスの設置 （出張所・公民館・学校など）

(3) 校則見直しについて

普段、自分たちが校則に触れて生活している中で、不便に感じていることや時代に合っていないと感じることがあるということから、教育長・学校指導課からお話を伺ったりしながら、学習を進め、校則の更なる理解・発展を進めるための提言を行いました。

テーマを選んだ理由	課題	提言
・時代錯誤、不便を伝える	・表現が分かりにくい・曖昧 ・不要な校則の残存 ・先生・生徒一人一人が細部まで校則を把握できていない	・先生・生徒の校則の読み合わせ
・他の学校の校則を知る機会になる		・時代に合わせて校則を変化させる

2 新型コロナウイルスに関する子ども目線からの意見

新型コロナウイルスの影響で、学校が休業となっていた時、子どもたちが感じたこと・考えたことを話し合い、意見をまとめました。

	委員の意見（抜粋）	市（大人）への要望（抜粋）
学校・学習面	・学習方法や進みの遅れ、友人との差について、情報が得られないことが不安な気持ちにつながった	・ガイドラインや学習プリントのようなものを作成してほしい ・オンライン環境の整備を進める →個々の状況に配慮して環境が整っていない人に対しては、個別に柔軟に対応することが必要
日常生活・大人の行動	・「買いだめ」など、一部の情報に惑わされて冷静な判断・行動が出来ていなかった	・大人の行動は、子どもにも大きな影響を与えることから、慎重な行動を心がけてもらえるような効果的な施策や周知が必要

3 サポーター（大学生）からの一言

子どもならではの意見、積極性、発想に驚くことが多く、自分自身楽しみながら子どもたちと一緒に松本について考えることができ、貴重な経験ができた。

4 市関係者からのコメント

(1) 臥雲市長

ア 松本市の観光 PR について

- ・PR などの情報発信や広報は、今までとは違うやり方でやっていくことが必要。
- ・（子どもたちが作成したものは）大人が書けないようなことをストレートに表現してくれている。
- ・他の大人や市が作成したものをたくさん見て、比較してもらい、作って PR するまでに、自分たちで工夫できること、こうしたいと思うことを考えて作業し、未来委員会だけの特色を持ったものを作ってもらいたい。

イ 環境（フードドライブについて）

- ・フードドライブの具体的な話から、より勉強の幅を広げ、気候危機・再生可能エネルギー・脱炭素社会の問題など、身の周りの問題から大きな問題を考えていってほしい。

ウ 校則見直しについて

- ・今までのルールでいいところもある。変えた方がいいと思っている人が必ずしも多くない場合がある。
- ・疑問を持って、先生方に質問して、それからどうするかということを、発表だけで終わりにせず考え続けてほしい。
- ・ルールは変えられないものではない。どうしたら変えられるか、変える必要があるか、提言のことについても、改めて考え、みんなが本当に思っているなら実行に移してほしい。
- ・仲間を増やし、周りの人を説得し、みんなにそうだな、と思ってもらえることが必要。

エ 新型コロナウイルスに関する子ども目線からの意見について

- ・大人は、子どもより物をよく知り、経験もしてきているが、コロナウイルスについてはわからない。大人も子どもも差がないと思っている。
- ・日本も世界も、不安になったり、何をやるかはっきりしない。わからない中でどう判断していくか、社会の力がつく問題であると思う。
- ・子どもも大人も一緒になって、少しでも安心して毎日を過ごせるように、小さなこと、身の周りのことを子どもたちから大人にどんどん言ってほしい。

(2) 赤羽教育長

ア 松本市の観光 PR について

- ・今年感心したことは、「松本は面白い」ということに目を付けたこと。学習をとおして学ぶ→面白い→みんなに知ってもらいたいというプロセスを経ているから人の心に伝わると思う。
- ・松本城など、一点に絞って詳しく、面白さを探っていくと良い。子ども目線から見た面白さが広がるのではないかな。

イ 環境（フードドライブ）について

- ・フードドライブについては、提言のとおりだと思った。
- ・自分は、市役所に勤めていたから参加する機会があったが、色々な場で機会があれば、活動が広がるのではないかな。
- ・生きていく上でとても大切な、ものの命を大切にしようということを広めることになる。

ウ 校則見直しについて

- ・校則は、時間を守りましょう・ゴミを捨てないようにしましょうというマナーとは少し違う。
- ・クラスの仲間たちとルールを作る自治の精神につながる。
- ・(発表の中で委員が発言した)「意見が違う人もいるので、堂々巡りになりそうなくらい、難しい」ということについて、全て白と黒で決められないこともあると感じたことが大事。すぐに結論を出せないこともたくさんある。
- ・「先生・生徒との校則の読み合わせ」という提言は、皆で考える問題であるから、先生と生徒が一緒に見直して、呼びかけてほしい。

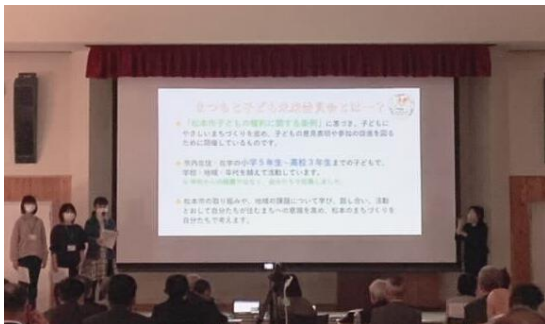
エ 新型コロナウイルスに関する子ども目線からの意見について

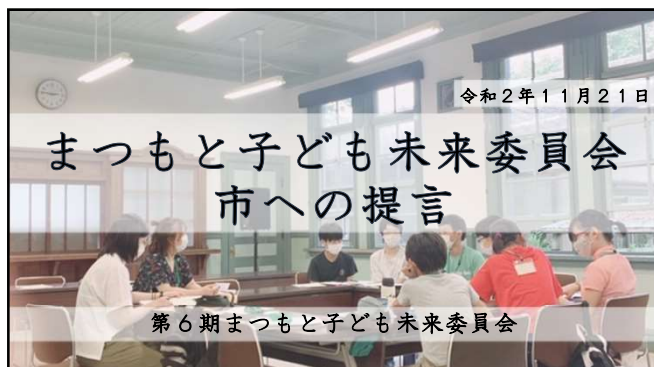
- ・アンケートの結果を見て、改めてこういうことを感じていたのかと思った。提言を含め、これから活かしていきたい。
- ・大人たちの行動はどうだったのかということについて、手厳しい意見もあった。未知なものへの不安は子どもも大人も同じ。大人は極端な行動に出ることもある。冷静に考えたとき、大人はどうだったのか、子どもに見られているということを大人に伝えていかなければならないと思った。

オ サポーターについて

- ・サポーターの存在は、心強く、助かった。未来委員からも育ってくれることを祈っている。

【提言の様子】





未来委員会 7 か条



- 1 自分の考えを持つ
- 2 他の人の意見をしっかり聞く
- 3 互いを認め合う
- 4 積極的に取り組む
- 5 コミュニケーションを大切にする
- 6 松本をよく知る
- 7 楽しく委員会に参加する

第4期の未来委員が
自分たちで考えました！



まつもと子ども未来委員会とは...?



- ◆「松本市子どもの権利に関する条例」に基づき、子どもにやさしいまちづくりを進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るために開催しているものです。
- ◆市内在住・在学の小学5年生～高校3年生までの子どもで、学校・地域・年代を越えて活動しています。
※学校からの推薦ではなく、自分たちで応募しました。
- ◆松本市の取り組みや、地域の課題について学び、話し合い、活動とおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを自分たちで考えます。

第6期の未来委員会



- ◆活動期間
令和2年4月～令和3年3月
- ◆委員
16人（小学生4人、中学生10人、高校生2人）
→継続13人、新規3人
- ◆大学生サポーター
5人



未来委員会のマークについて



マークに込めた想い

- ／笑顔でいっぱいになりたい／
⇒KODOMOの“O”が笑顔になっている
- ／松本と松本の自然を大切にしたい／
⇒手の中に松本、山と太陽



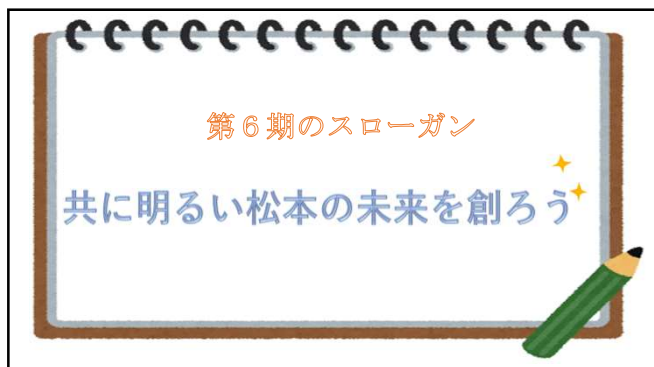
大学生サポーターについて



昨年度（第5期）から、大学生のサポーターを設置しています。

今年度は、信州大学生 3人
松本大学生 2人

のサポーターが委員会に参加してくれています。



提言に向けた活動

- ◆ 自分たちが興味を持った事柄について、学習し、自分たちの考えをまとめる

松本市の
PR

環境

校則見直し

第6期の活動について



1 市への提言

自分たちが興味を持った事柄について、学習し、自分たちの考えを市へ提言します。

2 新型コロナウイルスに関する子ども目線からの意見

新型コロナウイルスの影響により、学校が休業になった時、子ども達が何を考えたかということを話し合い、意見をまとめて、市に発表します。

市への提言 1

松本市の

PR

小澤 樺音 駒橋
希美 滝川 未央 藤池
春妃 藤崎 悠理

1 市への提言

テーマを選んだ理由

- ◆ 松本は面白いところがたくさんあるので、色々な人に知ってもらいたいと思ったから
- ◆ 松本のことを知っている人はいるけど、詳しくない人もいたのでPRしたいと思ったから

PR活動にあたって、
コロナウイルスについては
悩まされました…



課題・考えたこと

～課題～

- ◆ 新型コロナウイルスが流行している状況の中で、「誰にPRするのか・いつそこに行ってもらえるのか」
- ◆ 感染症が流行している中で、本当にやっていいものなのか

～考えたこと～

- ◆ 松本は面白い
- ☞ だからこそ、PRしたい！



学習の内容

◎ パンフレットの作成

- ・松本の観光地を調べる
- ・写真を撮りに行く



市への提言 2



提言 (パンフレット紹介)

～ポケットサイズ～

表：観光地

裏：MAP



学習の内容

図書館の本

市内見学

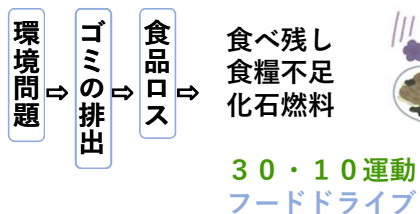
⇒ 松本クリーンセンター、エコトピア 山田

インターネットを利用した調べ学習

⇒ 市のホームページ等



テーマを選んだ理由



提言②

<フードドライブの回収を増やすには>

現状：第3木曜日10～13時 市役所

出張所、公民館、学校などに
『常設』の回収BOXを設置する

協力しやすく、回収量UP!!



考えたこと

フードドライブを増やすには
...
個人や家庭などにもっと認知させる!
回数と場所を増やす!



自分たちができること

月1回、冷蔵庫や食糧庫等のチェック

自分たちだけでなく、家族や祖父母、
周囲の人たちにも

PRポスター、チラシの作成



提言①

<フードドライブを認知させるためには>

個人、家庭に知ってもらうために...

↓
チラシを学校で配る
回覧板でチラシを回す
ポスターの掲示

↓
認知度UP!!



市への提言 3

校則見直し

阿部 康介 池田
千歩
井籠 莉乃 鈴木
柚葉
滝澤 智貴 根下
裕奈

テーマを選んだ理由



- ◆ 時代が違うから、不便だから、を伝える
- ◆ 他の学校の校則を知る機会になる



課題



- ◆ 表現が分かりにくい、曖昧なものがある
- ◆ 不要な校則がいまだに残っている
- ◆ 生徒や先生 1 人 1 人が細部まで校則を把握できていない
⇒ 校則に対していいイメージがない

学習の内容



- ◆ 校則は、なぜ・何のためにあるのか
→ 学校における一定の秩序・規律性を保つため

校則を正式に決めるための手順

①賛同	②理解者	③原案
児童・生徒→総会	⇒ 友人	校則の背景
保護者→PTA総会	⇒ 保護者	必要性→表・グラフ
地域→学校評議員会	⇒ 地域	新たな提案
教師→職員会・校長	⇒ 先生	新たな提案

提言



- ◆ 先生、生徒との校則の読み合わせ
- ◆ 時代に合わせて校則を変化させていく



実際の生徒手帳から抜粋



1 改善すべき校則

- ① 中学生らしい質素な服装や身なりに心がける
- ② 発車 5 分前には駅に着くようにする（電車通学）
- ③ 中学生だけの飲食店への出入りはしない
- ④ 部活動終了後は教室に入ってはならない

2 生活の上で大切な校則

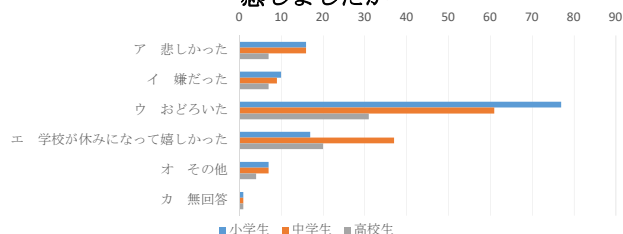
- ① 授業中に病院等へ行く者は必ず担任に届けてから出る
- ② 自転車の 2 人乗り・並列走行・無灯火走行・暴走行為・信号無視等をせず、交通規則を守ること
- ③ 学校生活に必要なものは持ってこない

2 新型コロナウイルスに関する子ども目線からの意見



アンケート結果

Q 臨時休業となることを聞いた時に、どんなことを感じましたか



意見のまとめ

～日常生活・大人の行動について～

- ◆ 寂しい・つまらないと子どもが感じている状況の中での大人たちの行動が不信感につながってしまったことがあった
- ◆ トイレットペーパーの買いだめなどについて、もう少し一部のの人に冷静になってほしかった



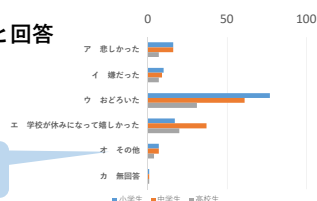
アンケート結果

Q 臨時休業となることを聞いた時に、どんなことを感じましたか

- ◆ 約6割の人が、おどろいたと回答

- ◆ 「その他」具体記述（抜粋）

学習格差の拡大や心情的変化が心配になった

考察・市（大人）への要望
～学校・学習面～

＼情報提供の手段として／

- ◆ ガイドラインや学習プリントのようなものを作成してほしかった
- ◆ オンライン環境の整備を進める

個々の状況に配慮して、環境が整っていない人に対しては、個別に柔軟に対応することが必要



委員の意見 ～学校・学習面～

- ◆ 学習の進め方が分からなかった
- ◆ 周りの皆の勉強の進度が分からず、不安になった

学習方法や進みの遅れ、友人との差について、情報が得られないことが不安な気持ちにつながった

委員の意見
～日常生活・大人の行動について～

- ◆ あと少ししかない友達との時間を奪われたことが悲しくて、悔しかった
- ◆ 友達に会えなくて寂しい・・・
- ◆ 毎日がつまらない・・・



考察・市（大人）への要望 ～日常生活・大人の行動について～



- ◆ 「買いだめ」など、一部の情報に惑わされて冷静な判断・行動をすることが出来ていなかった
- ◆ 大人の行動は、子どもにも大きな影響を与えることから、慎重な行動を心がけてもらえるような効果的な施策や周知が必要

市立病院へのポスター・手紙贈呈報告



- ・委員が、家庭で手紙やイラストを描き、事務局がそれをまとめて一つの形にしました。
- ・完成したものは、6月中旬に松本市立病院に贈呈しました。



アンケート結果

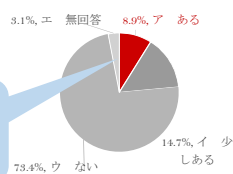


Q. 子どもから大人（親・先生・大人全員など）に伝えたいこと・言いたいことはありますか

- ◆ あると答えた人は1割程度

- ◆ 「ある」具体記述（抜粋）

社会の見本となるべき大人の変な行動のせい（全てとは言わないが）で感染拡大していることを痛感して欲しい。



ポスター・手紙作成の感想



- ◆ ポスターと手紙を作成したことで、病院の現状を把握するきっかけとなり、これ以上負担をかけないようにしようと改めて自覚することができた。
- ◆ 3密を避ける等、医療従事者の方にとって良いことは何かということを考えることにつながった。

自分たちができること



- ◆ コロナウイルスについて理解を深め、自分たちもできることを考えて、行動に移していく

未来委員会が集まって活動できなかった期間（4月～6月上旬）に、新型コロナウイルスの患者の受け入れをしている医療機関・医療従事者の方に対して、感謝の手紙・ポスターを作成しました。

サポーターから一言



- ◆ 子どもならではの意見、積極性、発想に驚くことが多く、自分自身楽しみながら子どもたちと一緒に松本について考えることができ、貴重な経験ができた



ご清聴ありがとうございました！

令和 2 年度 新型コロナウイルス感染症による影響アンケートの結果について

1 アンケート調査の概要

(1) 目的

新型コロナウイルス感染症の流行が、依然として国民の生活に大きな影響を与える中で、子ども達がどのようなことを考え、求めているのかということを調査するために実施したもの。

(2) 調査対象及び実施方法

まつもと子ども未来委員会（小学 5 年生～高校 2 年生）の委員のクラスの生徒が、自分のクラスの子ども達に調査用紙を配布し、後日回収。

(3) 回答数

学年	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	計
人数(人)	23	91	32	84	30	35	32	327
	114		146			67		327

(4) 調査期間

令和 2 年 9 月～10 月

新型コロナウイルス感染症による影響アンケート調査

第6期まつもと子ども未来委員会

あなたの学年は 年生

1 3月の急な臨時休業について伺います。

- ① 臨時休業となることを聞いた時に、どんなことを感じましたか。
ア 悲しかった イ 嫌だった ウ おどろいた エ 学校が休みになって嬉しかった
オ その他（ ）
- ② 休業中の生活で、いつもと変わったことはありましたか。
ア たくさんあった イ 少しあった ウ なかった
エ その他（ ）
- ③ ②でアまたはイ、と答えた方は、それは何ですか。
ア 生活リズムが乱れた イ 食事 ウ 睡眠時間 エ 勉強
オ その他（ ）
- ④ 休業中に家族・家庭の中で困ったことはありましたか。
ア 親が失業または収入が減った イ 食事が用意されていなかった
ウ 親が怒ることが多かった エ 親から暴力をふるわれた オ なかった
カ その他（ ）
- ⑤ 悩んでいること・困ったことを誰かに相談しましたか。
ア した イ しなかった
- ⑥ ⑤でア、と答えた方は誰にしましたか。
ア 親 イ 先生 ウ 友人 エ 親戚の人 オ その他（ ）
- ⑦ 休業中に勉強方法や家での過ごし方など自分なりに工夫したことはありますか。
ア 勉強方法を工夫した イ 家での過ごし方を工夫した
ウ 勉強方法・家での過ごし方どちらも工夫した エ 工夫したことはなかった
- ⑧ ⑦でア、イ、ウ、と答えた方は、どんな工夫をしましたか。
ア 勉強方法（ ）
イ 家での過ごし方（ ）

2 臨時休業が終わったとき（学校が再開した時）についてお聞きます。

① 学校が再開すると聞いてどんなことを感じましたか

ア 悲しかった イ 嫌だった ウ 嬉しかった

エ その他（

3 今現在の事について伺います。

① 新型コロナウイルス感染症の影響で、悩んでいること・困っていることはありますか。

ア ある イ 少しある ウ ない

② ①でアまたはイ、と答えた方はどんなことですか。

③ 今必要なものは何ですか。

ア 情報 イ 周囲のサポート ウ 相談相手 エ 勉強

オ 安心して生活出来ること カ 友達と遊ぶこと

キ その他（

④ 子どもから大人（親・先生・大人全員など）に伝えたいこと・言いたいことはありますか。

ア ある イ ない

⑤ ④でア、と答えた方は、どんなことですか。

⑥ もし自分が市長だったらどんな政策を考えますか。

ご協力ありがとうございました！

このアンケート調査の結果は、11月21日（土）に行う、第6期まつもと未来委員会の市長提言の
まとめに活用させていただきます。

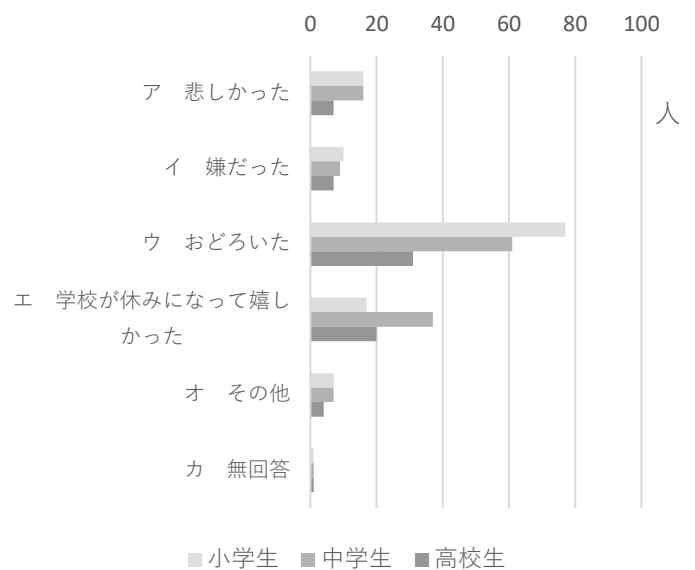
3 アンケート結果

■ 1-① 臨時休業となることを聞いた時に、どんなことを感じましたか

・結果は、最も多く約6割の人が「おどろいた」と回答した。次に、「学校が休みになって嬉しかった」と回答した生徒が多かった。

(複数回答のため、100%を超えています)

	人数 (人)	割合 (%)
ア 悲しかった	39	12.0%
イ 嫌だった	33	10.2%
ウ おどろいた	191	59.0%
エ 学校が休みになって嬉しかった	75	23.1%
オ その他	19	5.9%
カ 無回答	3	0.8%
計	357	



【1-①「その他」具体記述】

(1) 不安
・大丈夫かなあと心配した
・授業が大丈夫か心配になった (不安も)
・少し不安になった
・学習格差の拡大や心情の変化が心配になった。当然のことだと思った

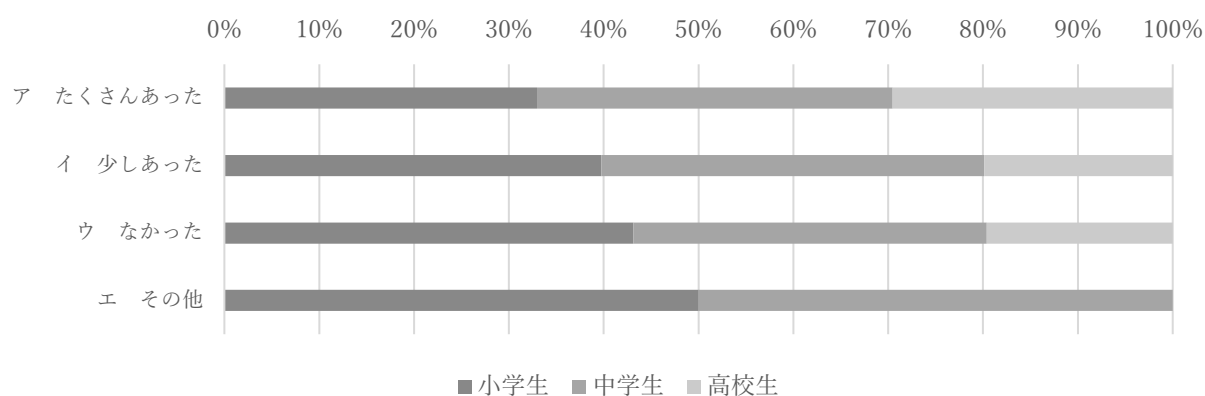
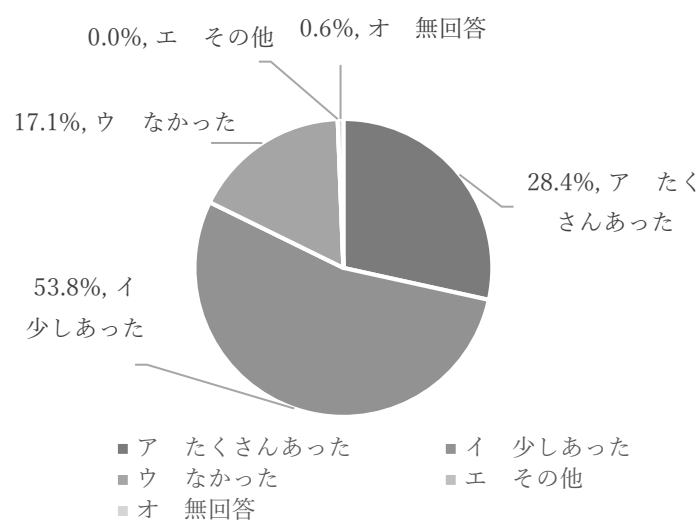
(2) 賛成派
・正しい判断をしたと思った
・コロナが怖かったから安心した
・やはり休校になるのかと思った
・妥当な判断だと思った

(3) その他
・ どうでもよかった
・ ナイスコロナ
・ なんとも
・ 神—————！センターまで休みでいい!!!!

■ 1-② 休業中の生活で、いつもと変わったことはありましたか

・「たくさんあった」と「少しあった」を合わせると、約8割の人に生活の変化があった。

	人数(人)	割合(%)
ア たくさんあった	93	28.4%
イ 少しあった	176	53.8%
ウ なかった	56	17.1%
エ その他	0	0.0%
オ 無回答	2	0.6%
計	327	100.0%

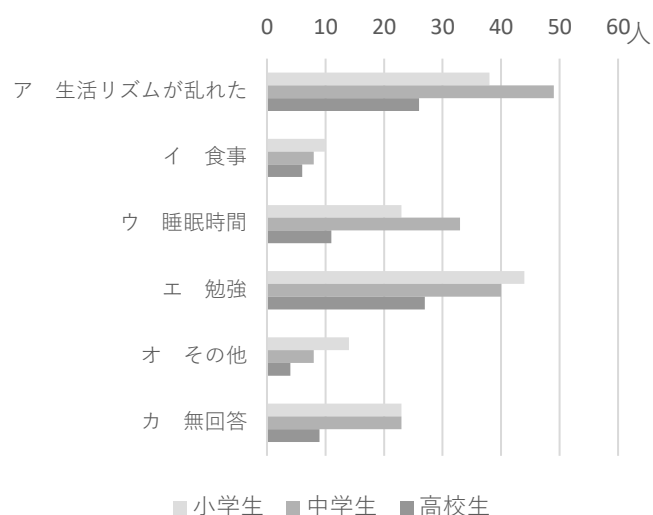


■ 1-③ ②でアまたはイ、と答えた方は、それは何ですか

・生活の変化では「勉強」と「生活リズム」「睡眠時間」の順に多くみられた。

(複数回答のため、100%を超えています)

	人数 (人)	割合 (%)
ア 生活リズムが乱れた	117	43.8%
イ 食事	27	10.1%
ウ 睡眠時間	74	27.7%
エ 勉強	125	46.8%
オ その他	28	10.5%
カ 無回答	60	13.9%
計	431	



【1-③「その他」具体記述】

(1) 勉強
・習い事の練習がそんなに出来なかった
・コンピューターを使う事が多くなった
・授業が無い
・少しだけ不安だった。「受験はどうなるのかな」と思った
・オンライン授業でスマートフォンを見る時間が増えた

(2) メディア機器の使用
・ゲームする時間が増えた
・ゲーム時間が限られた
・ゲームの時間が増えてしまった (3人)
・テレビなどの観ている時間
・スマートフォンの使用時間が1時間程長くなった
・部活でLINEを使ったレッスンが始まった

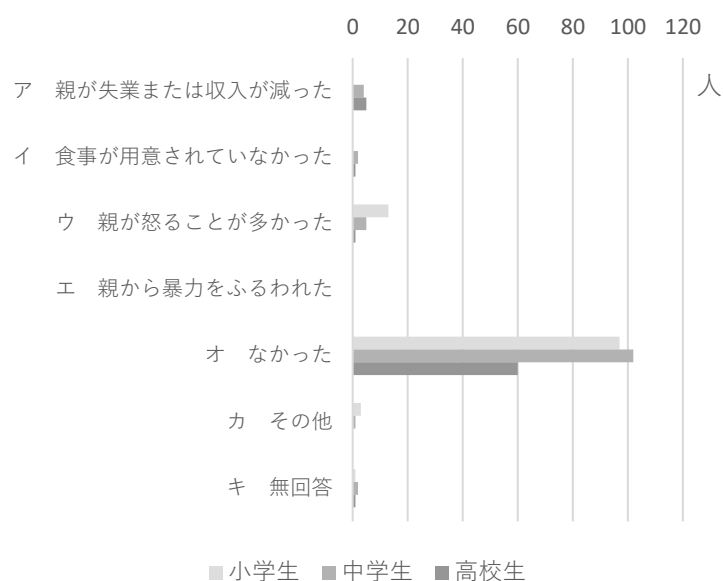
(3) その他
・マスク
・外に出た時マスクをする
・友達や彼女との関係
・運動
・太った
・特に無し

■ 1-④ 休業中に家族・家庭の中で困ったことはありましたか

・結果は約9割の人が「なかった」と回答したが、「食事が用意されていない」「親が怒ることが多かった」「親の収入が減った」などの回答もみられた。

(複数回答のため、100%を超えています)

	人数(人)	割合(%)
ア 親が失業または収入が減った	9	2.8%
イ 食事が用意されていなかった	3	0.9%
ウ 親が怒ることが多かった	21	6.5%
エ 親から暴力をふるわれた	0	0.0%
オ なかった	287	88.9%
カ その他	323	1.5%
キ 無回答	4	0.6%
計	647	



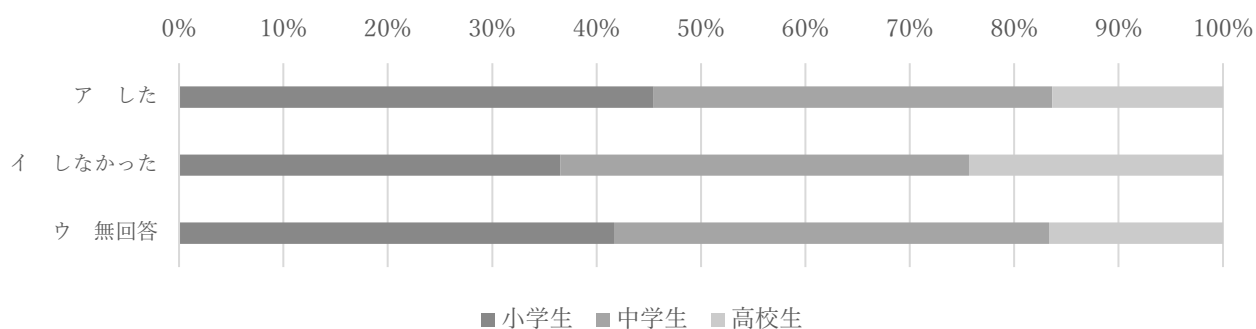
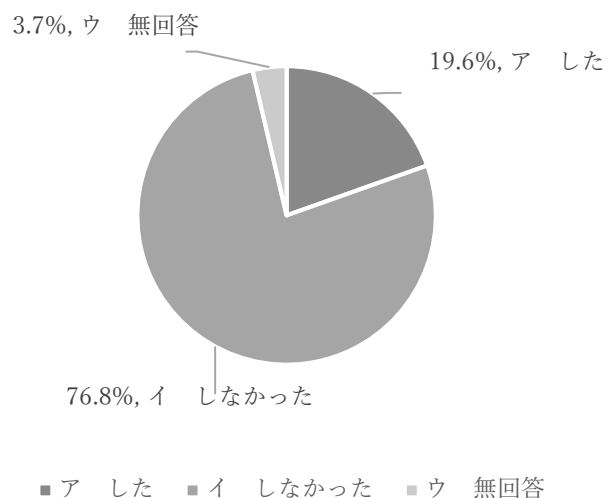
【1-④「その他」具体記述】

・お婆ちゃんの家にいる事が多かった
・家族との仲が深まった
・学校に行けなかったからつまんなかった
・親から病気をバカにされた
・特に無い

■ 1-⑤ 悩んでいること・困っていることを誰かに相談しましたか

・結果は約2割の人が「相談をした」と答えた。

	人数(人)	割合(%)
ア した	64	19.6%
イ しなかった	251	76.8%
ウ 無回答	12	3.7%
計	327	100.0%

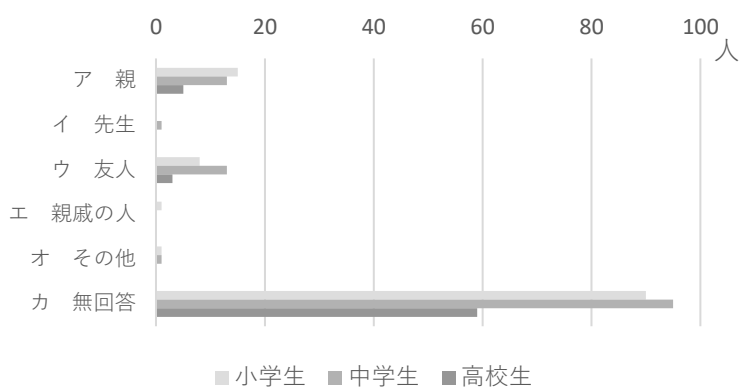


■ 1-⑥ ⑤でアと答えた方は誰にしましたか

・最も多かった回答が「親」、次に多かった回答が「友達」だった(無回答除く)。

(複数回答のため100%を超えています)

	人数(人)	割合(%)
ア 親	38	61.3%
イ 先生	1	1.6%
ウ 友人	29	46.8%
エ 親戚の人	1	1.6%
オ その他	2	3.2%
カ 無回答	265	78.9%
計	336	



【1-⑥「その他」具体記述】

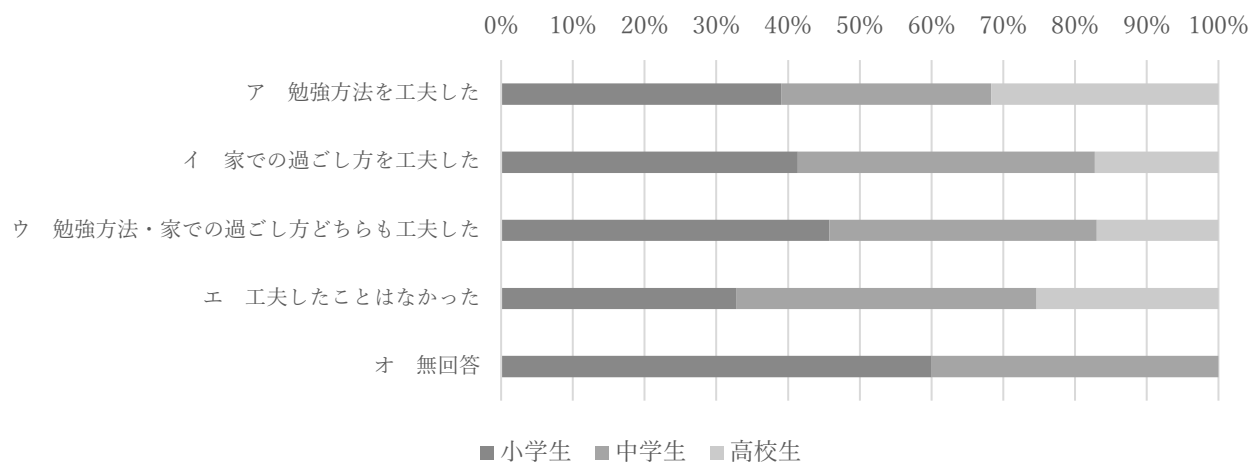
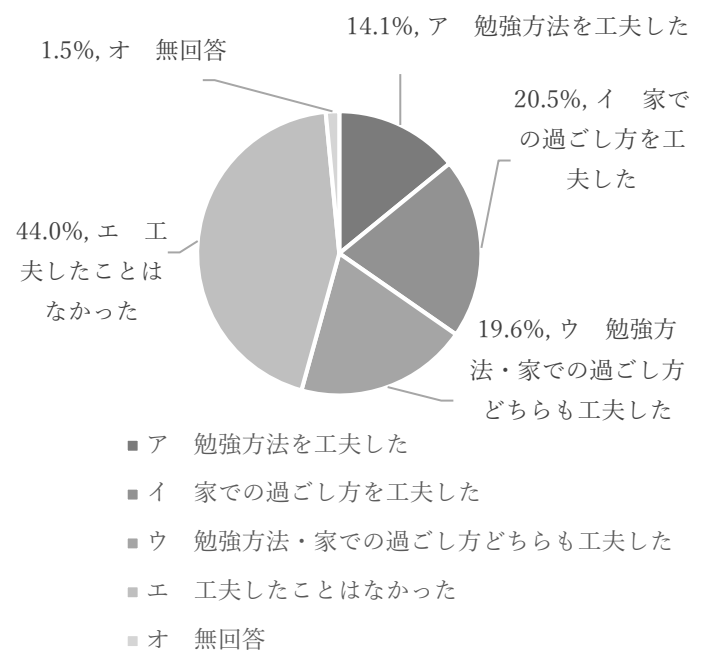
・お姉さん

・人形

■ 1-⑦ 休業中に勉強方法や家での過ごし方など自分なりに工夫したことはありますか

・ 5割以上の人は何らかの工夫をしていたと回答した。

	人数（人）	割合（％）
ア 勉強方法を工夫した	46	14.2%
イ 家での過ごし方を工夫した	67	20.7%
ウ 勉強方法・家での過ごし方どちらも工夫した	64	19.8%
エ 工夫したことはなかった	145	44.8%
オ 無回答	3	0.9%
計	325	100.0%



【1-⑧ 具体記述】

○勉強方法の工夫

(1) 時間
・ 毎日、最低3時間勉強した（2人）
・ 学校の授業と同じ時間で勉強した（11人）
・ 時間を決めて行った（26人）
・ よく集中力が続く時間帯に集中的に勉強した
・ タイムを計って、集中して勉強した（4人）
・ 時間を有効的に、効率よく使えるようにした
・ 何時間も続けて勉強しない様にした
・ 勉強時間の確保
・ 夜遅くではなく、朝勉強するようにした
・ 朝から勉強を始めた

(2) 量
・ 1日にやる量を決めて頑張った（3人）
・ 問題をいつもより多くといた（4人）
・ 1日何ページやるという計画をした
・ 1日の目安を決めて出来るまでやる

(3) やり方
・いつものやり方とは違ったやり方（2人）
・自分に合う勉強方法を探しながらやった
・主にチャレンジや、スマホのアプリ（勉強）を使った。
・ドリルや問題集をした（2人）
・計画を立てて勉強した（12人）
・1つの事をじっくりやった
・自分に合う方法を見つけるために、色んな問題集をやってみた
・テストをやった
・テキストなどで用語、やり方を覚えるまで書いた
・復習など時間を有効に使う
・タブレット（インターネット）を使った勉強（8人）
・勉強環境を変えた（2人）
・教科書などを見返した（3人）
・宿題と別で、色んなドリルをやった
・NHKの動画や教科書を多く使った
・その日行ったオンライン授業での復習や課題の進め方（2人）
・苦手だったことを再確認しつつ予習の時間を多くした（2人）
・予習、復習をした（5人）
・問題を沢山解く、理解し直す
・自分で考えても分からなかったら親に聞いた
・算数と国語を普段より沢山勉強するようにした

(4) その他
・電子端末使わない
・ゲームをあまりしないこと
・いっぱい勉強する為に、パソコンとスマホの排除
・ペイシステム、勉強した分ゲームが出来る
・1日5時間以上やれば遊んでいい
・家でも私と兄だけの〇〇学校を作って毎日勉強した
・1つ1つ丁寧に集中出来るように物を片付けた
・頑張った

○家での過ごし方の工夫

(1) 生活リズム
・生活リズムを整えた（3人）
・生活リズムが乱れてしまったので、普段の生活でしている事をするという工夫
・生活リズムが崩れないようにした（5人）
・ダラダラしないでメリハリをつけること（6人）
・計画を立てて行った（12人）
・学校と同じスケジュールで動いた（4人）
・時間厳守
・早寝早起きを怠らずに生活リズムを整えた（3人）
・睡眠時間を固定した
・よく寝る
・早寝早起きを心掛けた（3人）
・勉強、テレビ、ゲームをやって生活リズムをつくった
・留守番をしている時は休憩時間にした。
・いつもより少し早く起きた（3人）
・早起きをして散歩するようにした
・いつもは遅く寝る事が多いけど、早く寝た
・お昼寝
・食事の時間を守ること。
・なるべく寝ない様に気を付けた、夜の睡眠を減らして、こまめな昼寝を設けた
・暇な時間の使い方を変えた

(2) 運動
・体を動かした（5人）
・外で体を動かす（5人）
・家の中でも体幹トレーニング、ストレッチなどをした（4人）
・ストレスを溜めないように体を動かしたりした
・ゴロゴロしている時間が多かったので、運動時間を増やした
・弟と運動をした。外に1日1回出る事を心掛けた
・腹筋や腕立てをした
・ラジオ体操をした
・ずっと家に居るので、体力が落ちないように筋トレをした

(3) 家族
・家族と一緒に色々な事を楽しんだ
・家の人と話す時間をたくさんとった
・家の中でも楽しく遊べるように
・弟と遊べる事を考えて遊んだ
・家の人と会話する回数を意識的に増やした
・家族という時間が長かったので、それを大切にしたい
・弟と遊んだり、家族と過ごした
・外へ出られないので家族との時間が増えた
・家族で話す時間を増やした
・家族が楽しく過ごせるような工夫

(4) 家事
・手伝いをした (17人)
・片付け等
・パンやお菓子を作ったり、料理をした
・自分で炊事をした
・家の仕事を少しでも減らす事
・料理をした、食事を作った (2人)
・家事を積極的にやった

(5) 趣味
・本を読むようにした (1時間くらい) 精神統一
・ゲームしたり友達と遊んだりした
・手芸やDIYなどに挑戦してみた
・工作などをした
・普段忙しくてできない事をした 趣味とか
・本を沢山読んだ (2人)
・絵を描くなど
・たまにゲームをしていた
・ボードゲームをした
・暇な時間にいつも出来ないような物を作ったこと
・やりたい事が出来るように時間をたてた

(6) 衛生, コロナ
・ 食事の前の手洗いをするようにした、友達を家に呼んだりはしないようにした
・ 家の中でも消毒をした
・ こまめに手洗いをして、時間をつぶした
・ 換気をよくした
・ できるだけ外に出ない (2人)
・ マスクを常に着ける
・ 毎回勉強するところを掃除した

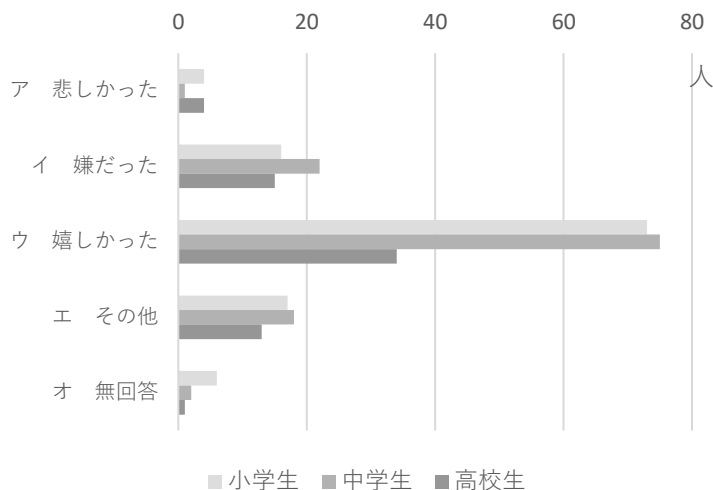
(7) その他
・ ゲームやテレビを見過ぎないようにした
・ ゲームをし過ぎないようにした
・ 勉強時間以外は、スマホを見ない様に心掛けた
・ 黙ってテレビを見て、黙って勉強すること
・ 今日の活動を毎朝頭の中でまとめた
・ だらだらしないように勉強が終わった後休んだり遊んだりした
・ やった事のない事を工夫した
・ 沢山ある時間の中で、普段出来ないような事をした (部屋の片付けや整理)
・ 自分で沢山やっていたアプリをやめた
・ いつもだとやらないことをやった
・ 気分転換をしてメリハリをつけた
・ 少しずつ休憩を取ったところを2つにして、2つやって休憩した
・ 退屈にならない様に自分でも工夫した
・ 勉強以外の事を普段より多くやるようにした
・ 習い事の練習をしたりした
・ なにかした

■ 2-① 学校が再開すると聞いてどんなことを感じましたか

・「嬉しかった」が最も多く6割を超えており、2割が「悲しかった」や「嫌だった」と回答した。

(複数回答のため100%を超えています)

	人数(人)	割合(%)
ア 悲しかった	9	3%
イ 嫌だった	55	17%
ウ 嬉しかった	207	65%
エ その他	52	16%
オ 無回答	9	3%
計	332	



【2-①「その他」具体記述】

(1) 無関心
・普通だった (5人)
・特に何も思わなかった (3人)
・特に何も感じなかった (6人)
・なんか あ 始まるのか くらい
・どうでもよかった
・「へえ～」って感じだった
・なんとも
・普通だと思うから何も思わない
・「ほお、始まるのか」という感じ、特には何も思わなかった
・〈・_・〉
・始まっても、休みでも良かった

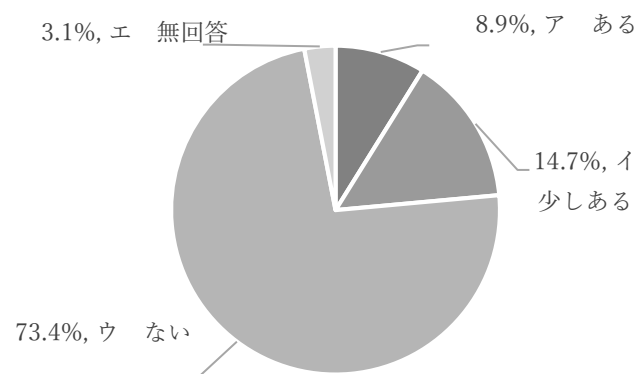
(2) 不安
・不安だった、かからないか心配だった (2人)
・入学式をやって2. 3日程で休業になってから大分経ってからの再開で、クラスの人達とほぼ初めて会う感じがあったので緊張していた
・学校の感染対策や全国のコロナ患者拡大が非常に心配になった
・まだあまりおさまっていないから不安だった
・コロナが心配だった

(3) その他
・驚いた
・休校で、学校にも行かれてなかったのが嬉しい
・生活リズムを直せなかった
・ホッとした
・嫌だったけど、皆に会えて嬉しい
・課題が終わらない
・授業をしっかり受けられるのは嬉しかったが、長い事家にいたので、少し悲しかった
・久しぶりに友達に会えるのは嬉しかったけど、勉強や早起きの生活が戻ってくるのが少し嫌だった
・友達に会える嬉しさと、また明日行かなければいけないめんどくささで5・5だった
・やっとかと思った

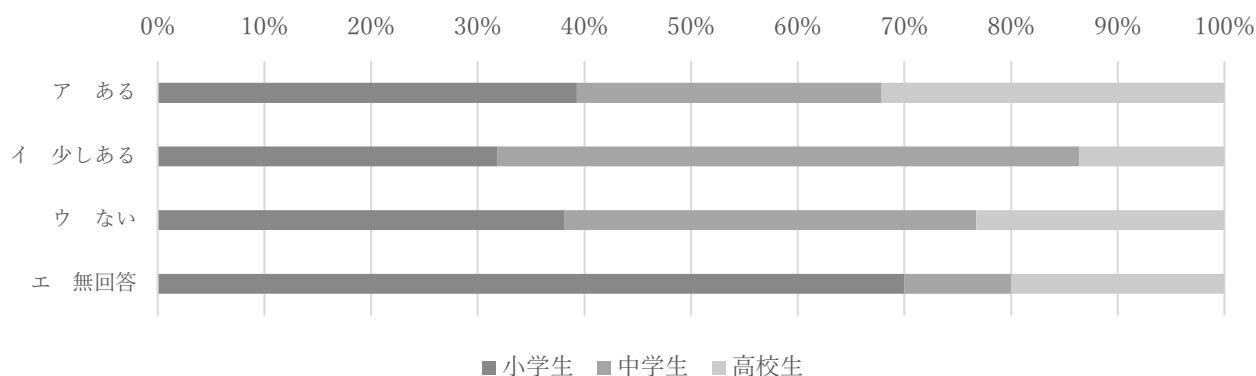
■ 3-① 新型コロナウイルスの影響で悩んでいること・困っていることはありますか

・7割以上が「ない」と回答したが、約2割の人は「ある」「少しある」と回答した。

	人数(人)	割合 (%)
ア ある	29	8.9%
イ 少しある	48	14.7%
ウ ない	240	73.4%
エ 無回答	10	3.1%
計	327	100.0%



■ ア ある ■ イ 少しある ■ ウ ない ■ エ 無回答



【3-②「その他」具体記述】

(1) マスク
・マスクが辛い遠征に行けない
・クラスの中で、マスクを外して話したり、密になっていたりする事がある
・クラスや学年にマスクを嫌がって、マスクをせずに大きな声で話す人が少し怖い
・マスクをずっとしてるのが、いつもと違って違和感があった
・マスクをしているため、暑い（2人）
・マスクつけるのがめんどくさすぎる
・マスクしないと白い目で見られてる気がする
・マスクをつける生活に疲れています
・マスクが嫌（5人）
・マスクで肌荒れする
・運動した後にマスクを外すから、友達と喋れないこと

(2) 遠征
・GoTo～みたいな事が増えていて、ただでさえおさまってないのに、増やそうとしているようにしか思えない
・お爺ちゃん、お婆ちゃんに会えないから心配（3人）
・友達と色々な所へ出かけられない（2人）
・夏祭りや海水浴など、夏休みらしい事が出来なかった（休みも少なかったし…）
・外出や友達と遊ぶ時などに色々な制限が付く
・外出の数が減った
・遊びにも旅行にもあまりに行けていない（2人）
・ユニバに行きたいけどコロナになりそうでなかなか行けない
・県外に行ったり、友達と遊んだり（ショッピングモールなど）する事が不安
・好きなところへ好きな時に、自由に行くことができない事
・来年から受験勉強が始まって、今年しか遊べないのにコロナでどこへも行けなかった
・家族や友達と自由に出かけられる場が少ない
・色々な所に行けなくなった（県外に）こと
・遊べない
・県外へ友達と思い出作りに出かけられない

(3) 勉強, 学校, 部活
・ 習い事が少なくなってしまったこと
・ 感染者が急増し、学校や部活の行事が無くなってしまったこと
・ また休校になったらどうしよう
・ 学校の旅行とか、祭りがこれまでとは違う感じになったこと
・ 部活の大会がなくなってしまったこと (2人)
・ 色んな行事やスポーツの大会がなくなった
・ 吹奏楽部の練習時間が減った
・ 習い事の大会が次々に無くなっていった
・ 部活の大会がなくなってしまわないか心配
・ 学校の勉強がしっかりできているかという事
・ 学校行事や部活動でのイベント、外出などが制限されてしまい、楽しみにしていた行事などがほとんどなくなってしまった事
・ 部活の試合が中止になった (3人)
・ 大会が無くなったりして、アピールの場が減った事
・ 勉強
・ 進路
・ 受験の事
・ 色々な交流がなくなったりする事
・ 学校行事、部活の試合が普通に行えないこと
・ 部活が例年と違う予定になって困っている
・ 行事が中止、延期になったり縮小された。大会 (部活の) が減ってしまった
・ 普通に文化祭が行われないこと

(4) 感染
・ 自分がかかってしまわないか心配 (2人)
・ コロナウイルス対策はしていますが、「このドアノブにコロナがあるかも」などと心配してしまい、きりがなくなってしまう事がある
・ インフルエンザみたいに普通に当たり前に感染するかもしれないから、少し嫌だなと思った
・ 自分が感染して、それがお婆ちゃんとかに感染するのがとても心配
・ 親戚や身内が感染したら怖い
・ 感染者が増えてきて、自分が感染したら移すかもしれない恐怖
・ 自分がかかったら、学校に迷惑がかかるから
・ 自分や周りの人が感染したら怖い
・ 車とかで買い物や出かけたりすると、県外から来ている人が多くて少し怖かった
・ 体育で友達が大きな声で呼びかけをしてくれてたけど、その近くに人がいて、どうなのかなと思っている
・ 家族がかかってしまって、友達とかに避けられるのではないかと
・ コロナが怖い
・ クラスに入るのが怖かった

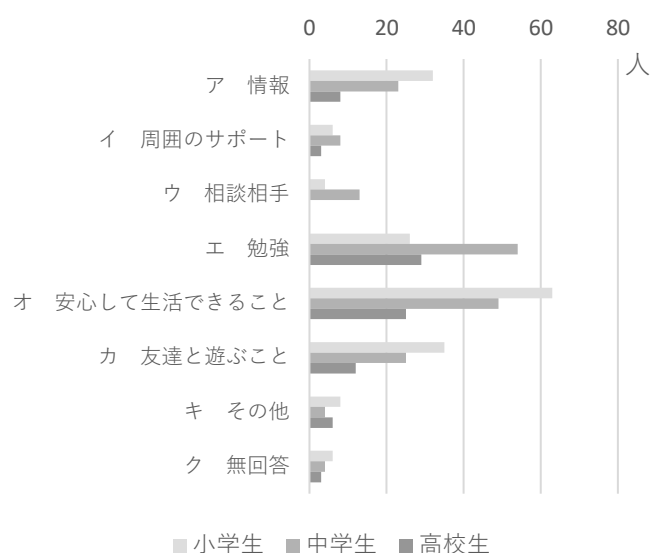
(5) その他
・行きたくない、退屈、つまらない、めんどくさい
・生活の制限がある
・母が怒ることが多い
・普段は出来る事がコロナのせいでできない事
・病みやすくなった
・ソーシャルディスタンスの使われ方が変な方になっていた
・密を避ける事が意外と難しい。コロナによる差別や偏見が酷い
・部活が無くて、体をうまく動かせなかったのが、今どうやって元に戻そうか困っている
・様々なことが出来る最後の年なのに体育祭も宿泊行事もなくなり、模擬国連等の課外活動にも参加できなくて、このままだと全て中途半端なまま終わってしまい、来年受験に集中できる気がしない

■ 3-③ 今必要なものは何ですか

・「安心して生活できること」と「勉強」と回答した人が多く、次に「友達と遊ぶこと」と回答した生徒が多かった。

(複数回答のため 100%を超えています)

	人数 (人)	割合 (%)
ア 情報	67	21.3%
イ 周囲のサポート	17	5.4%
ウ 相談相手	17	5.4%
エ 勉強	126	40.1%
オ 安心して生活できること	149	47.5%
カ 友達と遊ぶこと	76	24.2%
キ その他	19	6.1%
ク 無回答	12	2.5%
計	483	



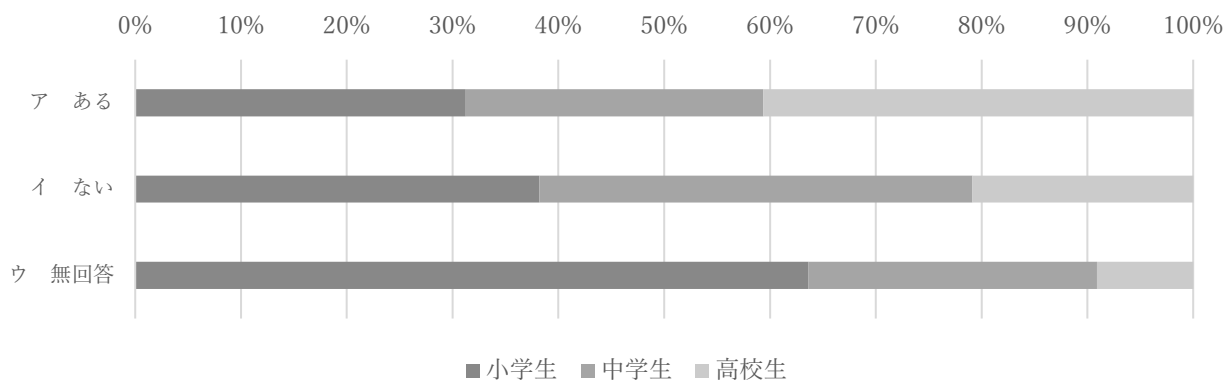
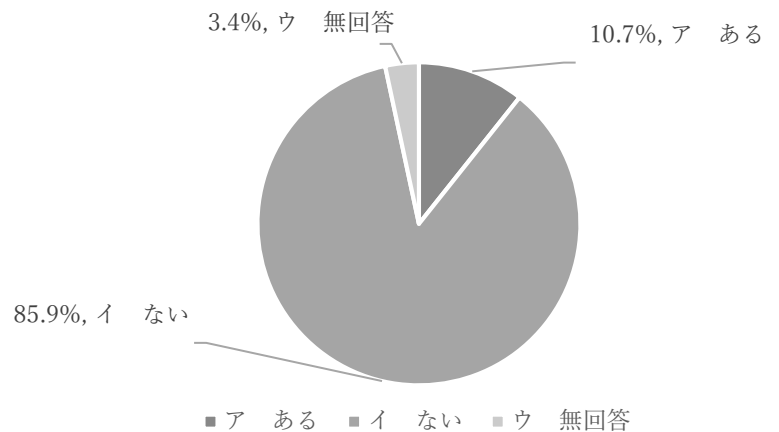
【3-③「その他」具体記述】

・無い（8人）
・本
・コロナウイルス絶滅マシン
・思いやりと協力
・金
・彼女との関係
・差別の防止
・新しいグラボ
・時間

■ 3-④ 子どもから大人（親・先生・大人全員など）に伝えたいこと・言いたいことはありますか

・約1割の生徒が「ある」と回答した。

	人数（人）	割合（％）
ア ある	35	10.7%
イ ない	281	85.9%
ウ 無回答	11	3.4%
計	327	100.0%



【3-⑤「ある」具体記述】

(1) 要望等
・コロナ対策として、大人の危機感をもっと上げて欲しい
・コロナの話をするのは2日に1回位にして欲しい（本当に必要だと思う事だけを話して欲しい）
・部活の疲れがたまり、週末にはよく風邪気味になるので、時間短縮や休みを増やしてほしい
・子供は子供なりに考えています。 その人のしている行動、話し、間違っていたとしても、全てを否定しないで下さい。 コロナで辛い子供が今多いと思います。 だからこそ全てを否定しないで
・コロナに感染する人が後を絶たないので、減らすようにしてほしい
・東京などの首都圏に住まわれてる方々が、「夜の街」というところで感染者が多く発生し拡大しているため、「自分の勝手」のような大人の意識を改めて欲しい
・まずは、自分の身体を第一に考えて、コロナにならない、ならせないように気を付けて欲しい
・もっと明るい情報を出して欲しい。危機感は生まれるが不安も出てきてもっと世の中が暗くなるから
・必要異常な過度なことはしないで欲しい。いつまで続くか見当もつかないものにばかり目がいくと他の事を見失う
・医師、看護師への差別 心当たりのない店などへの差別をやめること、この人達がいることで社会が成り立つ
・大人が出かけた時にコロナに感染して、他の大人にうつしてるからもっと対策をして、子どものお手本になって欲しい
・もう少し大人にも危機感を持って欲しい
・具体的な対策をして欲しい
・子どもの事も考えて欲しい！
・運動会がやりたい!!
・コロナ関係の差別や偏見は100%やめて欲しい。休校中の学習方法（プリントのみ）だと、勉強にならないし、力が全くつかなかった。子供は我慢できるのに、社会の見本となるべき大人の変な行動のせい（全てとは言わないが）で感染拡大していることに責任を痛感して欲しい。休校中のこちらに対する対策や政策が何もなく嫌だった。頼りにしなくなった
・感染が拡大して修学旅行に行けなくなったりする等、様々な事が出来なくなっているの で、感染したら自分や身近な人だけではなく、全く関係のない人にも影響があるという 事を理解して欲しい
・コロナ対策で様々な行事が中止や変更になっていて、進学に影響がある人の存在や、普通 の生活を 送れない人もいることも分かって欲しい
・感染者が出ないように引き続き感染対策を行ってください。
・国や地方の借金を減らし、役所の古い体質を変えていないのに、人材不足というのをや めてもらいたい

(2) 感謝
・親に、コロナで大変な状況だけど、仕事をしたり、家の事をしてくれてありがとう
・大変な状況でも色々な工夫をしてくれてありがとうございます。
・親も先生も精一杯やってくれていると思います
・いつもありがとう
・子どもの気持ちも考えてくれると嬉しいです！（今でも十分だけどもう少し）

(3) その他
・コロナは自然のものではなく、人工物で蝙蝠が発生源と片付けようとしていること
・親へ、休校中ずっと家にいたのに家事何にもできなくてごめんなさい
・大人に支配されたくない
・コロナを危ないものだと見過ぎていると思います。コロナの死亡数もあまり多くないですし、死んだ方は他の病気が元になったものが多く、金を貰うためにコロナでの死亡にしている人もいると思うし、コロナでこんなに騒ぐのにインフルは特に対策しないのは恥ずかしいと思います。それより経済活動が衰退する方がヤバイと思います
・学生がしていないと色々言うのに、大人がマスクをしていないのはどういった事ですか？勉強して夜9時に液のホームに着いたら知らない人にコロナについて怒られる理由は？
・この状況を乗り越えるために、一人一人が最善をつくし、収束するまでがまんすること
・頑張る

■ 3-⑥ もし自分が市長だったらどんな政策を考えますか

(1) 学校、学業、部活動等
・学校を全て休校する
・休校にする
・学校を一年間休校（2人）
・コロナが完全になくなるまで休校
・コロナがもう少しおさまるまで休校にする。宿題は大変だと思うけど、保護者メールなどで連絡して伝えてもらう
・学校には2つのグループに分けて、1日交替で通う
・友達と勉強したくても席が離れちゃう（ソーシャルディスタンスなどで）からオンライン勉強会をやったり、休校中のオンライン授業で分からなかった所を再確認できるように授業数を増やす
・学校には出来るだけオンライン授業をするように要求。インターネット関係が難しい家庭には学校に特別教室を一時的に作りそこで行う
・教室を増やして密を防ぐ
・各学校の昇降口に体温計を設置する（2人）
・学校への消毒液の増量
・オンライン授業にする（2人）
・皆安全に暮らせるようにリモートで授業が受けられるようにしたいです
・コロナが終わるまで学生はオンライン授業
・学校を休校にして、授業のおくれが生じるため、オンライン授業での授業を行う。その授業で分からなかった時のために分散登校を呼びかけ、理解が深まるような対策をする
・各学校と協力して行事をなるべく出来るようにサポート（運動会、音楽会、修学旅行とか）
・オンライン授業の取組みを助ける
・インターネットで授業を出来るように
・各学校に1人1台分のiPadを支給し、オンライン授業にする
・また休校になってしまった時のためにオンライン授業の整備をし、無償で機器を貸し出す

・情報をもとに考えて場合により、学校を休業する
・リモート環境を整え在宅通学できるようにする
・家でも学校で学ぶような学習が出来るように、学校側にオンライン授業の要請をする
・オンライン授業が出来るように整備
・嫌な気持ちになる人がいないような学校再開後の措置
・部活の大会や発表会が出来なかった人たちのために、メディア取材などをして、テレビで発信をする
・金管の県内での大会が出来るようにする
・小中高生全員にタブレットを配布して、家と学校で繋げて授業を行う
・修学旅行に代わる旅行の手配
・コロナの影響でできなかった部活の試合や、その他の事が沢山あるので、子ども達の心のケアも含め、中止になってしまったものを小規模でも開催したり代わりにする事を考えて感染対策をしながら子どもたちを楽しませる

(2) 外出等
・市を封鎖する一切外に出ずに生活外に出る時は、マスク・消毒持参
・外出を控えてもらう
・外出禁止
・GoToトラベルなんてやらないで、市民に無駄な外出をしないように呼び掛ける
・外に出る時はマスク 多人数での外食は×。人がいる所で大きな声で喋らない。バスや電車は走っている時少し窓を開ける
・もし、市内の感染者が増えてきたら、1週間市民全員が家から出てはいけない
・ほぼ完全にコロナが収束するまで、外出自粛要請をだす
・マスクの着用、3密、飲み会などをすると罰金
・外出自粛・マスク着用・3密をできるだけ避ける
・マスク・手洗い・うがい、あまり外に出ないという事を意識してもらって、かかったと思った人は、すぐ病院で検査させる。
・仕事以外の遠方からの行き来を禁止する
・県外からの人を断る
・外にあまり出ないでと言います。多分。市民に迷惑かけたくないのも難しいですね。
・周りの外出の量をもっと減らしてもらう
・2週間ずっと外出するのを極力控えてもらう対策
・皆が安心して生活できるように、県外からの接触を少しでもおさえていくことです
・長野県に訪ねて、県外からの入県者を入れない様に言う事
・県外に出ない様にする。出たら5万円の罰金をする
・旅行、観光目的の高速道路の使用を禁止する
・県外に出ない様に呼びかける
・県外に出ない事やマスクをつける事を呼びかける
・出来るだけ県外に行かない様にして、県外から人が来ない様にする
・長野県から外に出ない様にと行って他のところからも来ないでと呼びかける
・GoToキャンペーンをやめる!!

・家から出さない
・今やっているとと思うけど、県外へ行くなど控えたり、出来る限りの政策をみんなで考える
・効果なくても、外出禁止令をだす
・これ以上感染が増えないようにもっと注意する。（なるべく出歩かないでなど）
・県外に出ない事を呼びかける
・歩くとき、間を開けて歩かせる
・県外へ行く事を禁止する
・他県へ行かないことを呼びかける
・旅行に行くのはやめましょうって言う
・県外に行かない
・なるべく家にいさせる
・なるべく外へ出ない
・家に自粛要請を呼びかける
・外出自粛の呼びかけ
・県外への移動の制限し県に要求。地区などで外出できる時間帯をずらす、通勤通学の時間帯もずらす
・イベントを縮小または中止、延期にする 他県から来る人の制限
・自粛を頑張った人にご褒美をあげる

(3) 配布等
・給付金を給付する
・足りないものの寄付など
・マスク配布
・マスクがない家庭もあると思うから、1週間に1家族5枚位のマスクをあげたい。
・マスクを配ったりなどして安心安全な市にしたい
・もっと皆さんが安心できるように、呼びかけや、ポスター、マスクなどを配ってみたいと思います
・マスクが無くなってきているかもしれないから、マスクを何枚かあげる
・給付金をする時に、もっとスムーズな対応をする
・外出を控えて頂きたいものの、体を動かしたり、勉強もしなくてはならないから、全員に授業用のタブレットの支給と、外で体を動かす為の蒸れ軽減と通気性の良い安全なマスクを支給
・顔の見えるフェイスシールドを1人1人に配る
・マスクの着用＋一家に消毒を配布
・金を配る
・自分はコロナが心配な人の相談相手になり、1～3カ月に1度お金を寄付してもらい、そのお金を市民に配布したいです。コロナウイルスのワクチンができれば、誰でも無料で受けられるようにしたい
・子供がいる家庭に食費としていくらか配る

・地震及び災害, 遭難のため自衛隊基地の設営。 教育社会保障のため, 市民税 増税。 コロナ禍をおさませるため, 給付金有りでのマスク着用命令・要請。 息苦しくならないマスクの開発。 マスク, 消毒液の確保
・松本市独自の給付金をだす
・失業した人や収入が減って生活が出来ない人に給付金40万円をあげる。 マスクを無料で提供する。
・もう少しお金を配る、1人5万
・きちんとしたマスクを配る
・買い物した際にお金を還元するサービス
・病院に市民から回収した安部のマスクを渡す
・お金を少しずつ失業した人を対象に与え、市民対象の上記のようなアンケートを半月に1度インターネットを通して行う
・マスクと消毒液を配る
・給付金を渡す（2人）
・各家庭に10万あげる（困っている人にアンケート）
・失業したり、医療従事者の人にお金を給付する
・消毒液を配る
・紙マスク配布
・市民に10万円を配る
・市内だけベーシックインカムを導入する
・フェイスシールドを配る
・一家族に15万円の給付
・松本市独自の給付金をだす

(4) マスク, 3密, 消毒
・今と同じような感じで、マスクや手洗いなどの対策
・マスクをすることを徹底する
・マスク・消毒徹底
・マスクを全員がつける
・マスクをしっかりと付け、密にならない様に工夫して生活をする
・マスクを着けていない人には、マスクを配って必ずマスクをつけてもらう
・コロナウイルスがおさまるまで、子どもから大人まで、マスクの着用をお願いするという政策
・絶対マスクをつける
・出来るだけ人を避ける マスクは必ずつける など…?
・市長みずからマスクをつける事を呼びかける
・マスクつける事や、3密を避けたりする事を呼びかける
・外へ出る時はマスクをつける
・マスクをつけて出かける「決まり」を作る
・マスクを着用させる（2人）

・マスク着用の呼びかけ
・夏でもマスクは常にしなければならない
・3密を避けるよう呼びかけたりする（2人）
・3密にならないように気をつける
・3密を避けるような対策をする
・5人以上の集まりを禁止する（2人）
・大人数での密を避ける
・密になる行事などを中止とする
・コロナの予防の徹底
・消毒する
・外に出る時はマスクを着けてこまめに手洗いなどよびかける
・中国で感染した時からマスク着用、ソーシャルディスタンス
・外に出ないようにと、マスク、手洗いをしっかりする事を呼びかける
・手伝いがいの徹底の呼びかけ（2人）
・手洗い徹底する
・ソーシャルディスタンスを徹底する
・手洗いがいマスクの徹底（2人）
・手指消毒の徹底

(5) 施設
・無料でPCR検査を出来るようにして、皆、検査を出来るようにする
・快適に勉強や仕事出来る場所を提供する
・相談できる場所をつくる
・今もある通り、感染予防の正しい情報を出す。お店、街の安全確認
・子どもが楽しく予防できるような対策（手洗い場をカラフルにしたり、マスクに柄を付けた）
・電話での相談事業をアピールする
・町や学校の掃除を増やす
・コロナでストレスが溜まっていると思うから、悩んでいる事を気にせずに相談できる場所を設ける
・全ての公共施設に入る時、消毒と体温を測ることを徹底し、マスクも徹底的に着用させるようにしたいです
・まず、市民の思っている事、やって欲しい事などの願いを聞く→願いを基に実行する。子どものための無料電話相談室を作る。相談の電話をしたくても携帯を持っていなかったり、お家の人に言えない子のために作ると思います。会って話したくない人もこれなら大丈夫だと思います。
・市内の学習スペースを増設
・飲食店
・マスク、アルコール消毒を必ずつけてもらう事、換気への協力、デパート、スーパーなどの入場制限（人数が多過ぎる場合）

・ショッピングモールなどの駐車場を1/3は使えなくして、マスク着用してもらう
・スーパーなどを区域で時間をずらしたり、必ずマスクの着用をする事などを考える
・コロナで悩んでいる人のための相談室などをつくる
・地域のお店で使えるクーポンや商品券を配布したり、売ったりする（インターネットでの販売を中心とした方が密にならないためいいと思う）
・経済面的サポートから市から飲食会社再開後に補助金を出しサポート
・お店の営業時間を短くする
・医療体制をなるべく維持したいので病棟の確保とホテルなどの協力をもらう。募金を募る
・公共施設の消毒をこまめに行う（バスやタクシーも行う）
・コロナウイルスに感染しない様に臨時休業を少し増やす
・臨時休業をもっと増やしてしっかりと収まるまで待つ！感染してからじゃ遅いので
・ショッピングモールなどでの密になる場所の人数制限など
・コロナによってオンライン化が進んでいるので、パソコンなどのインターネット環境の手配をする
・仕事や学校などに行った時にアルコールを入口に置く
・営業時間短縮手
・今もやっているように健康観察カード的なのをやり、店に入る時は必ず検温をして、消毒などをやる
・安全第一に考える
・密にならない様、施設では間隔をとった印を書く
・店に消毒液を配る
・時短営業の要請
・JRなどとも協力して、電車の車両を増やす。密を避けると言われてますが、電車内はとても沢山の人がいて密になっているからです

(6) 経済
・職がない人に職を与える
・経済が回るように運搬に力を入れる。（木を買って植えたり、資源を買ったり）
・このような状況で職に就けなかった人を自動的につけてあげる
・コロナは落ち着いているから経済及び新しい生活の楽しみ方を支援するもの
・もっと楽しいイベントなど増やす
・感染者増えてもいいから経済回す
・少しでも経済を回すようにするため、店の所有者に許可をとり、割引券的なものを住民に配る
・GoTo受け入れ拡大・活性化
・県と協力し、市内にある観光地などの資源をうまく活用し、長野県全体で観光業を支えていくものを更に強化する。

(7) 宣布
・ コロナの状況を正確にホームページに載せる
・ ポスターや学校へのお便りを使い、松本市の現状を皆さんに伝える。学生の子どものいる家庭は必ず見るので…
・ 「コロナ撃退!!」と書いて団扇や日常品を配り、手洗いうがいを促す。「密を避けよう」というポスターをお店や看板に貼る
・ 感染予防のポスターを貼る
・ コロナの情報を書いた新聞
・ 伝える
・ この状況でも頑張って工夫をして活動している人を紹介して、「どんな事も頑張って協力すれば乗り越えられる」という事を市民に伝えていく
・ 呼びかけ
・ コロナウイルスに感染すると、どんなことがおきるのかを詳しく分かりやすく説明して、皆に考えてもらう。そして、気を付けてもらう
・ 新型コロナウイルスについての情報を出す
・ 年代別情報紙の製作→現代ある多くの複雑で間違いの多い情報を年代別に提供する
・ コロナに自分もならない。周りにうつさないという事を市民に言う。コロナは怖い病気という事を沢山広める

(8) 封鎖
・ 長野県の境目にフェンスをたてる
・ 必ずマスクを着用し、SDをして休める場を作る
・ 2週間だけ市をロックダウンする。食料は配達する人を何人か決め、ビニール袋に入れて届け、そのまま1日放置して、住民が受け取る。（冷蔵、冷凍食品は届けない）
・ ロックダウンをする
・ 高速道路封鎖
・ 1週間自粛生活をし、感染者が出るかどうか

(9) その他
・ 臭い物には蓋をするスタイルで頑張ります
・ 分かりません（14人）
・ 無い（13人）
・ 何も考えない
・ なんもしない
・ 2020年という年をもう1度やり直す!!
・ 無差別を徹底させる。自然と調和した町づくり。コロナ禍の打開策や経済活動との両立。国内外との連絡地的な存在

・失業や、いじめられていた人の自殺が多くなると考えて、自殺防止の何かを考える
・具体的なことは分からないけど、市が明るくなるような事をしたい
・町の人が困らないように1番いい方法を考えて行動する
・安心して生活出来ること！
・散歩など体を動かすように何らかのイベントなどをする
・皆が安心して生活できるような対策をする
・市民が楽しめて笑顔になれる政策 安心、安全に暮らせるような政策
・市の人を安心させられるような政策
・安心して生活できるもの
・子ども、大人（保護者）達が安心して生活できるような政策を考える
・感染対策をしていながらも、市内の人たちが楽しく生活できる取組みをする
・変わらずに学校生活を送れる町にする
・色々な所に市への意見箱を設置する
・市民に今ある不満を聞いて、それを解決できるような政策を考える
・市民に現在の生活で不便なこと（コロナの関わりで）を聞く
・頑張る
・積極的に皆を引っ張っていきたい
・しっかりと今必要なことをやる
・より充実した感染症対策を出す
・家で楽しむ為の何か
・子どもにも大人にもなるべく負担をかけないような対策
・感染者が1人でもでたら、すぐ対策する
・外部から人が来る時にPCR検査を実施する
・今のように出来る限りの対策をとり、出来る行事をやる
・感染予防
・コロナウイルス対策を考える
・コロナをなくすように呼びかける
・今みたいなことをすると思う
・現状にあわせる
・地域の感染症状態を見ていき、どんな対策するか考えていく
・具体的にはないが、いくら安全対策をしてもコロナにかかってしまうものはあるので「こうすれば絶対」はないと考えています
・失業や収入の減った人へのサポート
・防災無線で呼びかけ、テレワークを進める
・コロナウイルスの影響でできていないことをオンラインを使っていつも通りに近い生活を送る事を推進する政策
・全ての行事を無しにするのではなく、工夫をして、少しでもイベントなどがひらけるようにする
・まず町全体になるべく出ないように呼び掛け、町全体に消毒液を撒く

・ワクチン募金
・弁当を持たせる
・コロナ
・新型コロナウイルスに有効となりうるようなものは思いつきません、未来委員会の活動も大変だと思いますが、頑張ってください！
・コロナ対策をしない
・どうしようもない。時間が解決してくれる

(10) コロナ以外
・学校にクーラーをつける！
・選挙はネットなどで進める→投票する前、生年月日を入力し、本人だと確認してから投票
・道路を広くする 国道を片側2車線に
・修学旅行予算の約390万円の予算のうち、政府のGoToトラベル政策でかなりの金額が余るはずだったから、学校の階段をスロープにして欲しい（給食当番の時不便なので）
・自炊できるような簡単なメニューなどを配る
・松本駅から徒歩で行ける範囲にサンプロアルウィンを移設。松本空港の便の拡張
・マイナンバーの普及
・自分が市長になったら逆に政治が安定しないかと
・財政を建て直す
・ゴミ袋有料化
・誹謗中傷をなくす
・誹謗中傷のいじめや差別をしたら裁判をする条例をつくる（基本的人権）
・知事選立候補

教育委員会資料
2. 1 2. 2 4
生涯学習課・中央公民館

周知事項 1

未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第 36 回公民館研究集会 令和 2 年度
地域づくり市民活動研究集会～の開催について

1 趣旨

暮らしや地域に関わる様々な実践に学び合いながら、参加者が立場を超えて自由に語り合い、これからの地域の未来をみんなで模索することを目的に開催する標記集会について報告するものです。

2 テーマ (楽しく＋前向きに) ×みんなの実践＝地域の未来

3 日時 令和 3 年 2 月 2 1 日 (日) 9 時 3 0 分から 1 6 時 3 0 分まで

4 会場 松本市中心公民館 (Mウイング) 6 階ホール ほか

5 主催 松本市・松本市教育委員会・松本市地域づくり研究連絡会

6 主管 未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い実行委員会

7 日程

9 : 00	9 : 30～10:00	10:10～11:50	11:50～13:00	13:00～16:30
受付	開会式・表彰	基調講演	昼食	分科会

8 主な内容

(1) 感謝状贈呈式

長年にわたり、公民館活動にご尽力いただいた方へ、教育委員会から公民館活動推進功労感謝状を贈呈します。

(2) 基調講演

ア 講師 長野県生涯学習推進センター 所長 木下 巨一 氏
松本大学総合経営学部 専任講師 向井 健 氏

イ 内容 市内の実践者を交えた鼎談 (予定)

(3) 地縁×志縁の場 (市民活動商店街)

新型コロナウイルス対策として、各団体がブースを出展する従来の形式に替えて、地縁団体や志縁団体の活動を、紙媒体等で紹介します。

(4) 分科会

12の分科会を開催します。

第1分科会	松本の歴史・文化を次世代に伝えていくために
第2分科会	『対話』のある場っていいと思いませんか？
第3分科会	『不登校生徒を真ん中に！』 ～不登校の概念も無くなる未来について語り合しましょう～
第4分科会	災害が起きた時、私たちにできることとは？
第5分科会	地域社会におけるスピリチュアル（魂）ケアとグリーフ（悲嘆）ケア
第6分科会	バス使います宣言！？～未来を走る公共交通のカタチとは～
第7分科会	みんなの居場所 町内公民館のこれからを考えよう
第8分科会	私たちの平和は今どうなっているの？身近で話し合い、地域へ発信！
第9分科会	私たちにとって身近なSDGsの教材作り
第10分科会	コミュニティスクール進んでる？ with コロナ
第11分科会	聞かせてください。公民館、福祉ひろば、地域づくりセンターへの貴方の思い
第12分科会	あなたの望む松本を実現しませんか？自由に話をしましょう。

9 周知方法

- (1) 広報まつもと2月号
- (2) 公民館報まつもと1月30日号
- (3) 学びの森いんふおめーしょん2月号
- (4) テレビ松本
- (5) 市公式ホームページ
- (6) プレスリリース
- (7) チラシ

10 新型コロナウイルス感染症対策

従来の中央公民館一会場に替えて、主会場の中央公民館のほか、地区公民館や勤労者福祉センター等を会場とし、双方向通信（ZOOM）でつないだ分散型会場で開催します。

担当	生涯学習課・中央公民館
課長	栗田 正和
電話	32-1132

